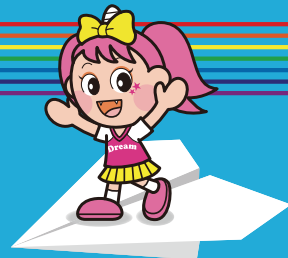


第3次
おかやま

夢づくりプラン



持続的に発展し、
安心して暮らせる岡山を目指して



岡山県

夢づくり県政！ 新たな発展のステージへ

備中聖人と称された山田方谷の書が私の手元にあります。「任重而道遠（任重くして道遠し）」。論語に由来するこの言葉は、県政を負託された私にとって大変重みのあるものです。また、方谷が理財論で書き記した「義を明らかにして利を計らず」の意味するところ、すなわち「義=理念」を明らかにしなければ発展はないとの考えに、私は深く共感を覚えます。

190余万県民の暮らしを預かる私の「任」は、県民の皆様が豊かさを真に実感でき、夢を持つことができる岡山を創造することであり、これまで進めてきた「夢づくり県政」の「義」は、その土台を築き上げることであります。知事就任時に目の当たりにした本県の極めて厳しい財政状況を立て直すため、行財政構造の抜本的な改革に取り組むことを決意したのも、そのために他なりません。

そして、県民の皆様のご理解とご協力に支えられ、このたゆまぬ改革が大きな成果を上げた今、夢づくり県政は新たな道筋へのスタートラインに立つことができたと考えております。

こうした中で策定した「第3次おかやま夢づくりプラン」は、社会経済構造や県民意識の変化に的確に対応しながら、本県が新たな発展を成し遂げるために県が何をなすべきなのかを、県民の英知を結集しながら、2つの基本方針に基づいて取りまとめたものです。

その第一は、「政策の大胆な重点化」です。無駄を徹底的に排除しながら、安全で安心して暮らせる基盤や仕組みの整備、本県の発展を支える多彩な人材や、発展の原動力となる力強い産業の育成、さらには潤いなどを含め生活の質を高める取組に政策の重点を置いてまいります。

二点目は、「地域の独自性の発揮」です。「岡山から国を変えていく」、「岡山から閉塞感を打破する」という気概を持ち、本県が全国に誇る強みや独自性を最大限に生かす先進的な政策を岡山モデルとして展開してまいります。

そして、これらを通じて、持続的に発展し、安心して暮らせる「暮らしやすさ日本一」の岡山の実現を目指すことを、今後5年間の行動目標といたしました。

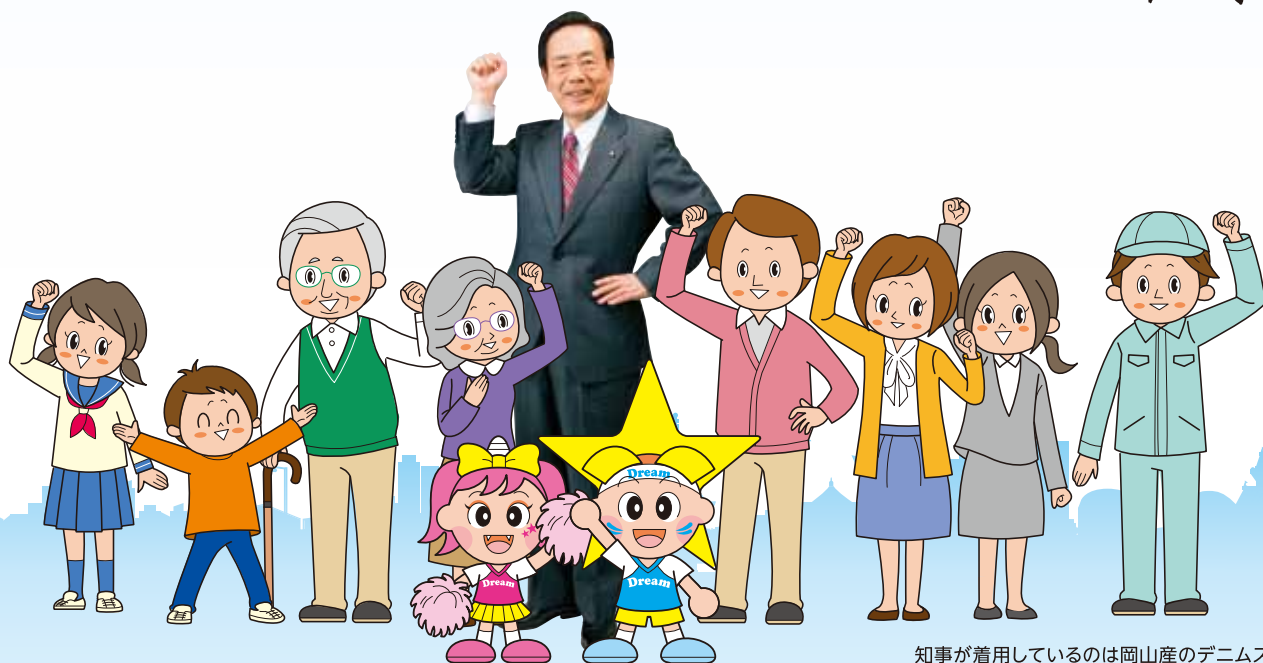
今回のプランに掲げる志の高い目標の実現には、これまで以上に県民の皆様方との協働が不可欠となります。そのためにも、私の座右の銘である「至誠無息」を旨とし、対話の県政・開かれた県政をより一層進めてまいります。

このプランを羅針盤に、県民力を結集して、本県を「暮らしやすさ日本一」へと導く、新たな発展のステージへ力強く踏み出していこうではありませんか。

県民の皆様のご協力を心よりお願い申し上げます。

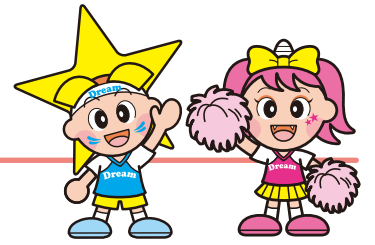
平成24年3月

岡山県知事 石井 正弘



知事が着用しているのは岡山産のデニムスーツです。

第1章 基本的な考え方



1 県政の基本目標

岡山県では、県民一人ひとりが、豊かなつながりの中で、快適にいきいきと生活できる地域社会の形成に向けて、平成10年に、「快適生活県おかやま」の実現を県政の基本目標に定め、これまでさまざまな施策に取り組んできました。今後とも、「快適生活県おかやま」の実現を永続的な県政の基本目標とし、その達成に向けて全力で取り組んでいきます。

2 プランの性格等

県政において最上位に位置付けられる総合的な計画(県政推進の羅針盤)

長期構想

将来目指すべき岡山の姿を明らかにする長期的な構想(2020年頃を展望)

行動計画

重点的に取り組む基本戦略や施策を盛り込んだ中期的な行動計画
(平成24年度(2012年度)～平成28年度(2016年度)の5力年間)

第2章 岡山の将来像(長期構想)

新しい時代の潮流や変化を踏まえ、岡山の個性やこれまで築き上げてきた優位性を発展可能性として整理した上で、2020年頃の目指すべき岡山の姿を展望しています。

安全で安心な活力ある地域で、
人々の心が通う

「いきいき岡山」



中四国の拠点として、
グローバルに発展する

「きらめき岡山」



世界とつながり
自立した

「中四国州」

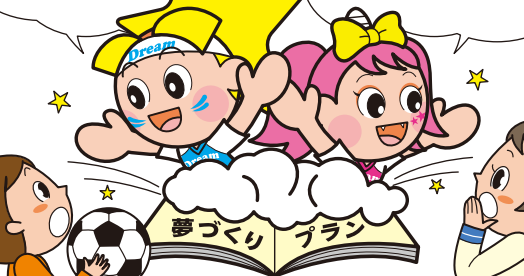


将来の夢はなに？



スポーツで岡手を盛り上げることも、プランの中にあるんだよ。

地域と一体になった教育の現場づくりは、大切なプランの一つよ。



僕たち私たちの未来のためのプランなんだね!

そのとおり!



第3章

行動計画(中期5カ年計画)

特徴

● 選択と集中による政策の大胆な重点化

19の戦略プログラム

73のメッセージ施策(力点を置く施策)

● 岡山らしさあふれる先進的な政策の展開

48の岡山モデル

● 社会経済構造の変化への対応

持続的な発展につながる政策の重点的展開

● 県民ニーズ等の変化への対応

県民の意識や感性を重視する政策の展開

● わかりやすい県政の推進

戦略プログラム等の名称の工夫

90の暮らしやすさ指標の設定

県民満足度調査の実施

5カ年の行動目標

「暮らしやすさ日本一」の岡山の実現

安全・安心な
地域づくり

将来を担う
人づくり



発展に
つながる
産業づくり

豊かで
潤いのある
暮らしづくり



4つの基本戦略(19の戦略プログラム)

I 安全・安心な地域づくり

5つの戦略プログラム

▶P.05

II 将来を担う人づくり

4つの戦略プログラム

▶P.10

III 発展につながる産業づくり

6つの戦略プログラム

▶P.14

IV 豊かで潤いのある暮らしづくり

4つの戦略プログラム

▶P.21

中四国州構想推進プロジェクト

▶P.25

3つの基本戦略横断プロジェクト

▶P.26

プランの進め方

▶P.29

- 対話の県政・開かれた県政の推進
- 市町村や「新しい公共」の担い手等との協働
- スピーディーに考え行動する真の政策県庁
- 政策評価等によるPDCAサイクルの確立

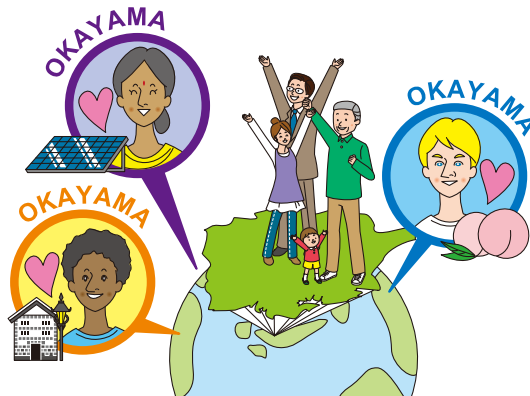


わくわく夢づくり物語

▶P.30

夢づくりプランの具体的な目標ではありませんが、プランを推進し、夢づくり県政を進める中で、県民の英知と力を集結し、努力を重ねることで実現できるような岡山の姿を物語として描いています。

注：岡山県議会の議決を得たプランの内容ではありません。



指標・施策・岡山モデル一覧

▶P.33

- | | | | |
|-------------|-----|------------|----|
| ● 暮らしやすさ指標数 | 90 | ● メッセージ施策数 | 73 |
| ● 基本施策数 | 134 | ● 岡山モデル数 | 48 |
- ※全て再掲を除いた数

この冊子では、第3次おかやま夢づくりプランの概要を紹介しています。詳しい内容は、岡山県のホームページでご覧いただけます。

第3次おかやま夢づくりプラン

検索

1 県民の命を守る防災・減災プログラム

地震や津波等の災害から人命を守ることを最優先に、避難対策や防災危機管理体制を強化するとともに、防災・減災のための施設整備、公共施設等の耐震化、液状化対策、広域的な救援体制の整備などを進めます。また、防災に関する正しい知識の普及等を推進するとともに、自主防災組織の育成など地域防災力の強化を図ります。

メッセージ施策



地震・津波から「命を守る」避難対策等の推進

東海・東南海・南海地震の3地震が連動して発生した場合等を想定し、地震、津波、液状化から「命を守る」ことを第一に、新たな被害想定による津波ハザードマップや液状化危険度分布図の作成、避難訓練の実施、津波避難ビルの指定など、各種避難対策の充実・強化に取り組みます。

岡山モデル 「津波による人的被害ゼロ」対策の推進

セーフティ・ニューディール^{*1}の推進 岡山モデル (耐震化、防災拠点施設等の整備促進)

災害時の応急活動や復旧活動、避難・救助活動の拠点となる県庁舎を含めた県有施設、公立・私立学校をはじめ、社会福祉施設、災害拠点病院、橋梁、工業用水道施設、住宅等の耐震化、耐震強化岸壁の整備を推進します。また、防災拠点施設への再生可能エネルギー設備の整備などの推進や消防防災ヘリの拠点の移転・整備に取り組みます。



暮らしやすさ指標

●公立学校施設の耐震化率

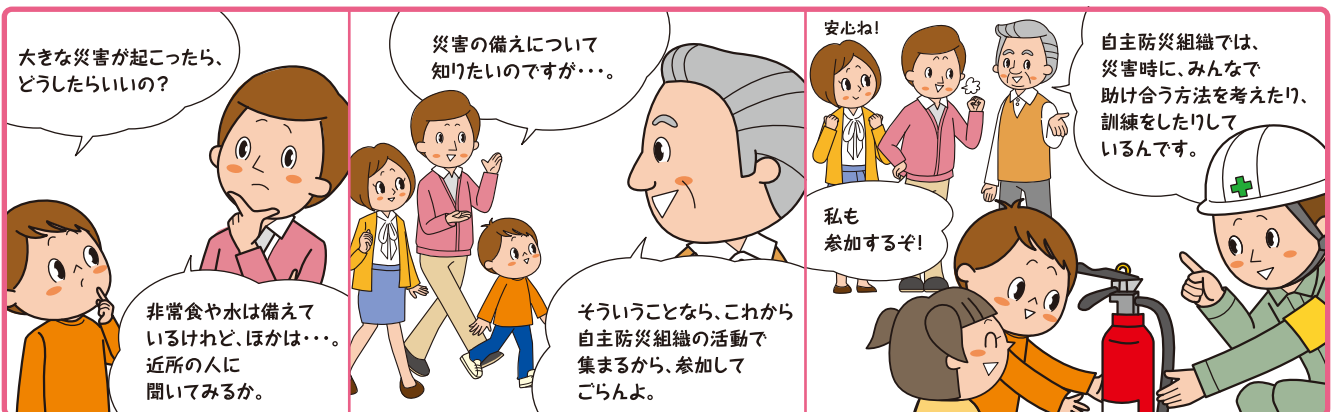


県立、市町村立、組合立の幼稚園、小・中・高等学校、中等教育学校、特別支援学校の校舎、体育館などの耐震化率

●自主防災組織率の全国順位



暮らしやすさ指標数 8
メッセージ施策数 7 P33へ



*1 セーフティ・ニューディール:地震から県民の命を守るために必要な耐震化事業や防災拠点施設の整備などの公共投資で、経済効果も期待できるもの

2 犯罪や事故のない社会実現プログラム

市町村、事業者、地域住民、ボランティア等と協働して、県民総参加による犯罪抑止対策や事故防止対策を推進するとともに、県民が不安を感じる犯罪の徹底検挙、暴力団の壊滅、少年非行対策等を推進し、犯罪や事故のない社会を実現します。

メッセージ施策



防犯ボランティアによる子ども見守り活動

防犯ネットワークの構築による犯罪抑止対策の推進

社会各分野の各層に、犯罪類型や被害者類型に応じた防犯ネットワークを構築し、そのネットワークに必要な人全ての参加を呼びかけ、それぞれの立場に応じて、防犯カメラの設置や自主パトロール等の具体的な取組が着実に実践されるよう支援するなど、県民と協働した犯罪抑止対策を推進します。

岡山モデル 「犯罪の起きにくい社会づくりミーティング」の開催



高齢者対象の交通安全教室

高齢者を重点とした交通安全対策の推進

参加・体験・実践型の交通安全教室等を行い、高齢者自身に身体機能の低下を実感してもらい交通事故防止意識の高揚を図るとともに、運転に不安を感じる高齢者の運転免許証の自主返納を支援するなど、県民と協働して高齢者を交通事故から守る活動を推進します。

岡山モデル 運転免許証を自主返納した高齢者にさまざまな生活支援を行う「おかやま愛カード」事業の推進

日々の積み重ねが
安心に
つながるね!



暮らしやすさ指標

● 刑法犯認知件数

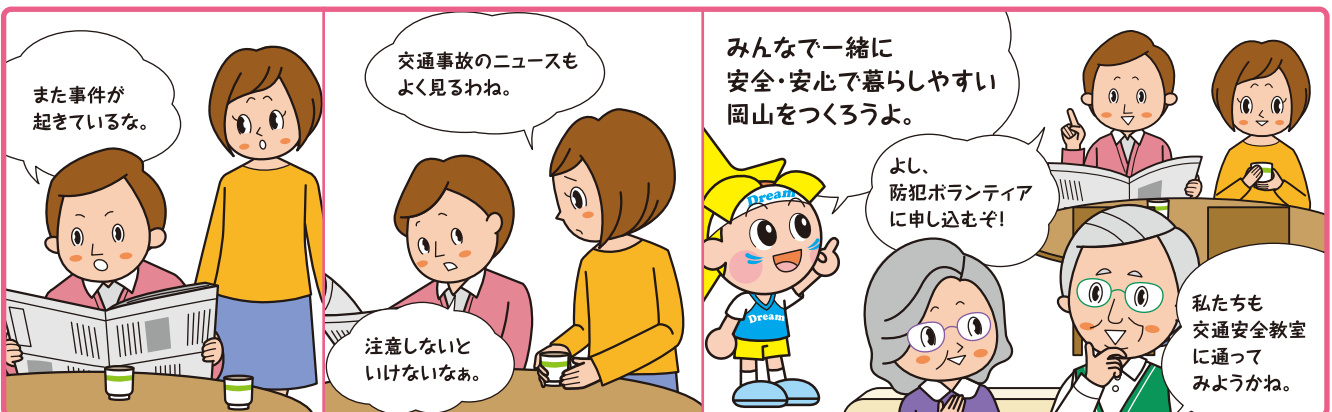
● 交通事故死者数

24,097 件/年 → 5年後 15,000 件以下/年

109人/年 → 5年後 60人以下/年

警察において発生を認知した刑法犯事件の数

暮らしやすさ指標数 4 P33へ
メッセージ施策数 5



3 誰もが安心! 子育て応援プログラム

「子育て支援は岡山の未来づくり」を基本に、少子化対策を推進する観点から、子どもの幸せを念頭に置き、市町村はもとより、家庭や地域、学校、企業、関係団体など、さまざまな主体と協働し、保育の充実や相談・医療体制の整備等を進め、誰もが安心して子育てができる環境を整備します。

メッセージ施策



きめ細かな保育の拡充

待機児童解消に向け、保育所整備の推進や広域入所の取組等により保育所受け入れ児童数の拡大を図るとともに、延長保育や病児・病後児保育の拡充、幼保の連携など県民のさまざまなニーズに対応したきめ細かな保育サービスの提供を促進します。また、放課後児童クラブの組織づくりの支援や、子どもの発達段階に応じた良質なサービスを提供することができる人材を育成します。

安心して医療を受けられる周産期・小児医療対策の充実

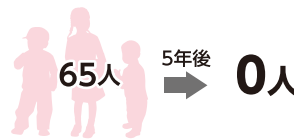
周産期母子医療センター*1と一般周産期医療機関との連携や、産科オープンシステム*2の充実などにより、安心して妊娠・出産できる体制の整備を図るとともに、新生児に対する検査実施体制を整えることにより、先天性疾患の早期発見、早期治療・療育に結び付け、健やかな成長を支援します。また、休日・夜間の小児救急医療体制の確保や電話相談を充実します。

岡山モデル 先天性代謝疾患の新検査導入と関係機関が連携した精密検査までの一貫した支援体制の構築

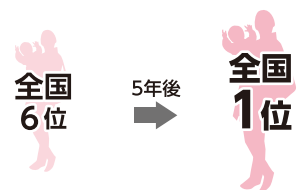


暮らしやすさ指標

●保育所入所待機児童数



●周産期死亡率の低さ



入所申込を行い入所要件も満たしているが、入所できていない子どもの数

年間の1000出産に対する周産期死亡(妊娠満22週以後の死産+早期新生児死亡)の比率

暮らしやすさ指標数 5 P33へ
メッセージ施策数 3



*1 周産期母子医療センター: 24時間体制で高度な周産期(妊娠満22週から出産後7日未満のお産にまつわる時期)医療を提供する総合周産期母子医療センター(県内2施設)と比較的・高度な周産期医療を提供する地域周産期母子医療センター(県内4施設)がある。*2 産科オープンシステム: ハイリスク妊産婦等を対象に、より安全に出産するため、妊婦検診は近くの病院・診療所で行い、出産は設備やスタッフの充実した病院(産科オープン病院)で行う連携体制

4 良質で先進的な保健・医療・福祉サービス提供プログラム

医療・介護従事者の育成と確保を進めるとともに、大学や企業とも連携しながら、全国トップクラスの医療水準や、IT*1、先端技術等を活用し、県民誰もが、いつでも、どこでも、良質で先進的な保健・医療・福祉サービスを受けられ、住み慣れた地域で自立して暮らせる社会を実現します。



地域枠の医学生による地域医療の実習

メッセージ施策



地域医療を支える医療従事者の育成・確保

自治医科大学や大学医学部の地域枠に加え、大学に設置した寄付講座などを通じて、総合的な診療能力を有する医師の育成・確保を図るとともに、医師が地域医療に魅力を感じる環境づくりを行う市町村と連携しながら、医師の地域偏在の解消に取り組むほか、看護職員等の安定的・計画的な確保を図ります。

岡山モデル 県地域医療支援センターと地域の協働による住民参加型医師の地域偏在解消対策の推進

地域包括ケアの推進による高齢者サービスの充実

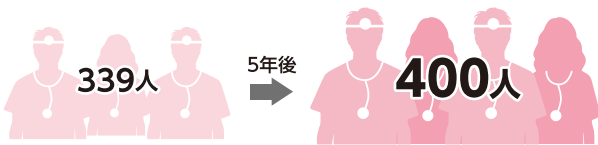
高齢者保健福祉計画・介護保険事業支援計画に基づき、居宅、地域密着、施設のバランスのとれた介護サービス基盤の整備を図るとともに、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を送れるよう、在宅介護力を高めるなど、医療、介護、予防、住まい、生活支援サービスが切れ目なく提供される地域包括ケアシステムの構築を進めます。

岡山モデル 中山間地域等における24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの推進



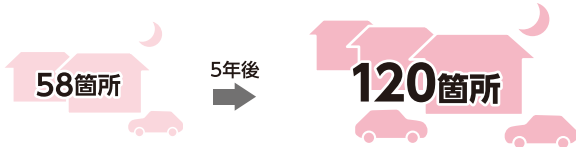
暮らしやすさ指標

● 県北医療圏における医師数

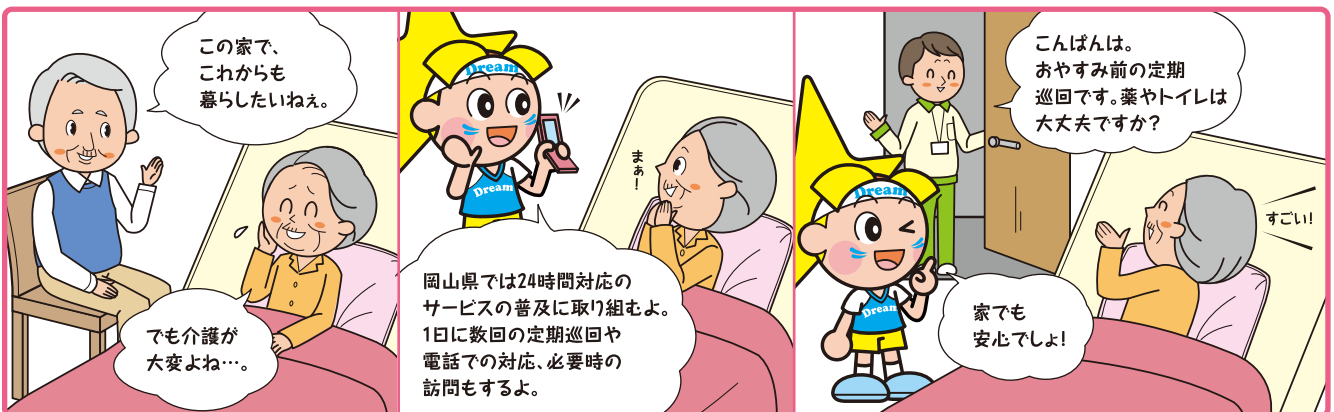


高梁・新見・真庭圏域及び津山・英田圏域の病院(精神科単科病院を除く)の医師数

● 夜間等に訪問看護サービスを提供する事業所数



暮らしやすさ指標数 7 P33へ
メッセージ施策数 5



*1 IT: Information Technologyの略。コンピューターや情報通信ネットワークなどの情報通信技術

5 安全で安心な県民生活確保プログラム

強毒型の新型インフルエンザ等の感染症、食の安全・安心、有害物質や不法投棄による環境汚染など、健康危害に関わる正しい情報の迅速でわかりやすい提供や相談・医療体制の整備、事業者の監視・指導の充実強化により、健康危機に的確に対応できる体制整備を図ります。また、消費者教育の推進や相談体制の充実、適正表示の推進、悪質事業者の監視・指導の強化により、消費者の安全・安心を確保します。

メッセージ施策



安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進

消費者に安全で安心な農林水産物を提供するため、トレーサビリティシステム*1の導入を推進するとともに、高病原性鳥インフルエンザやBSE*2等家畜伝染病の発生防止、さらには風評被害等への対応としてホームページ等を利用した積極的な情報提供を行い、県産農林水産物の一層の信頼確保を図ります。

食品の加工、流通段階における安全・安心の確保

食品の加工、製造、調理施設等に対する監視指導を行うとともに、食中毒発生防止のための各種啓発を行い、生産から消費に至る各段階での安全対策を強化します。また、輸入食品を含めた県内流通食品の検査を強化するとともに、食に関する健康危機に対応するための食品の検査についても適切に対応します。



暮らしやすさ指標

●食中毒等の件数



食中毒及び飲食による下痢、腹痛などの健康被害として保健所が処理した事案の件数

●消費生活サポーター数



消費生活サポーター講座を受講し、地域において安全で安心な消費生活を支える県民の数



牛肉のトレーサビリティ

耳標や商品ラベル等に表示された番号から、生産履歴がわかります。

暮らしやすさ指標数 **3** P33へ
メッセージ施策数 **2**



*1 トレーサビリティシステム:購入した食品の生産・処理・加工・流通・販売等の段階で、生産者・販売先・製造方法などの情報が追跡できるシステム
*2 BSE:牛海綿状脳症。牛の感染症疾患の一つ。脳に障害をきたし行動異常や運動失調などを起こす。

1 学校・家庭・地域の連携による教育推進プログラム

子どもたちの生活習慣や学習習慣等の改善、学習環境の充実、教員の指導力の向上を図り、基礎学力の定着と才能のさらなる伸長を目指します。また、全ての子ども・若者の健やかな成長や能力の発揮と自立に向けた支援、困難を有する子ども・若者*1が社会生活を円滑に営むための取組等を進め、地域・社会全体で子ども・若者を育てる環境を整備します。

メッセージ施策



学力向上策の充実

さまざまな体験活動や地域との交流を促進し、将来の夢や目標の実現に向けて、子どもたちの学習意欲が高まるよう取り組みます。また、習熟度別指導など個に応じたきめ細かな指導の推進や教職員の指導力の向上、授業改革の核となる教員の配置などにより、子どもたちの学力向上を図ります。

岡山モデル 国の計画に先行した小・中学校における35人学級の推進

科学技術教育の推進

新たに整備する県生涯学習センター「未来科学棟(仮称)」を活用し、子どもたちの科学や自然に対する興味・関心を高め、豊かな科学的素養を育成します。また、先端科学技術の研究を推進するとともに、国内外の研究機関や産業界等とのネットワーク形成を進めます。

岡山モデル 未来につながる科学の学び・体験・交流の発信拠点「未来科学棟(仮称)」の活用

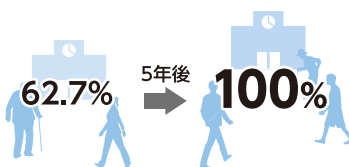


小学校での振り子の実験の様子

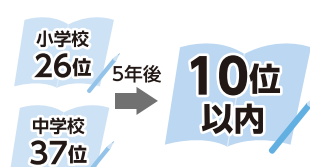


暮らしやすさ指標

●地域の人材を活用している公立小・中学校の割合

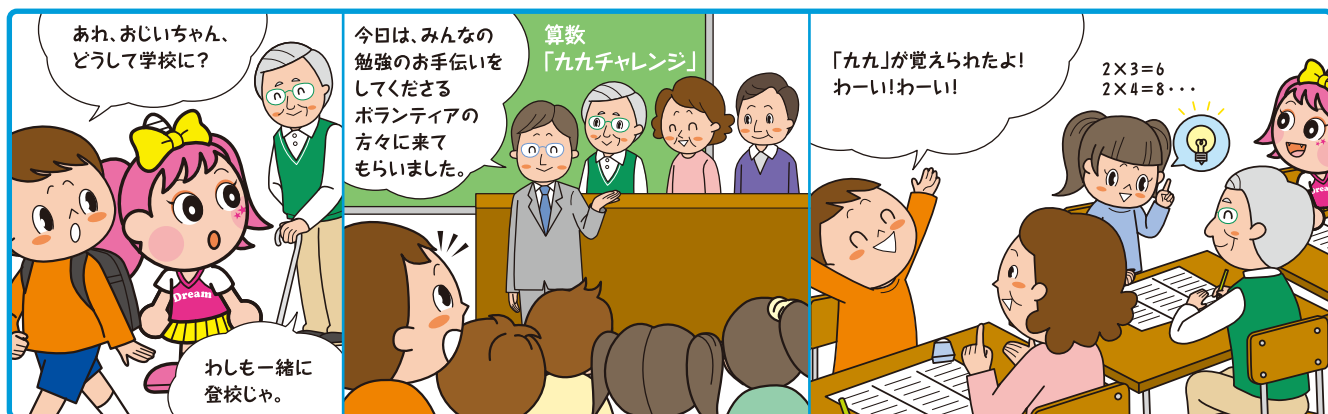


●全国学力・学習状況調査(平均正答率)の全国順位



学校支援地域本部(学校教育活動を支援する地域住民による学校支援ボランティア組織)等、地域の人材を活用して、学習支援や体験活動などを継続的に実施している学校の割合

暮らしやすさ指標数 4 P33へ
メッセージ施策数 2



*1 困難を有する子ども・若者: ニート、ひきこもり、不登校等、社会生活を円滑に営む上で困難を有する子ども・若者

2 世界にはばたけ! グローバル人材育成・誘致プログラム

小学生から大学生に至るまで英語に触れる機会を増やすとともに、英語教育を充実させて英語力の向上を図るなど、岡山ならではの世界に通用する英語学習活動を推進し、英語学習先進県の形成を目指します。また、県内の大学や企業等と連携して国際感覚やコミュニケーション能力を養成することにより世界で活躍できる人材を育成するとともに、留学生なども対象に県内企業のグローバル戦略をサポートできる人材の育成・誘致を進めます。

メッセージ施策

英語活用力の育成

中学校、高等学校における理数系科目の外国人講師等による英語での授業実施や、県生涯学習センター「未来科学棟(仮称)」を活用した英語による科学講座の開催などに取り組み、子どもたちの英語活用力の向上を図ります。

岡山モデル 英語による理数系科目の授業の実施



高校における英語による科学の授業

国際感覚等を備えた人材の育成

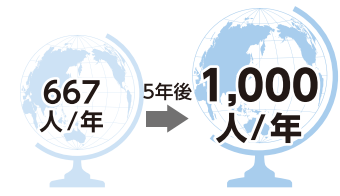
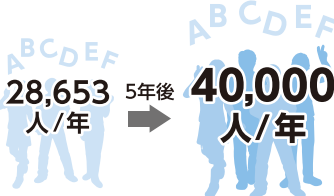
高等学校、大学、企業や市町村等と連携し、県内高校生・大学生等の外国人留学生との交流や海外留学、海外拠点を持つ企業でのインターシップ等を促進するとともに、伝統文化等に触れる機会を増やすことにより、郷土岡山や我が国の歴史・文化を理解した上で、国際感覚やコミュニケーション能力を備えた人材を育成します。



暮らしやすさ指標

●英語に関する検定等の受検者数

●海外留学等を行った学生数・生徒数



英検を受検する県内の中学生、高校生の人数と、TOEICテストの県内受験者数

県内の大学・短期大学・高等専門学校から海外に留学した学生の数と、県内の高等学校から海外に留学・ホームステイ等を行った生徒の数

暮らしやすさ指標数 4 P33へ
メッセージ施策数 4



3 支え合いの心あふれる社会実現プログラム

男女が対等な社会の構成員として、さまざまな社会活動に参画する男女共同参画社会の形成を進めます。また、人権啓発・人権教育などを通じて県民の人権意識の高揚を図りながら、人権尊重の視点に立ち誰もが互いを尊重する行政施策の推進に努めるとともに、道徳教育等の充実やいじめ・不登校問題への対応などを進め、全ての人々が社会の一員として互いに尊重し、モラルを持って支え合いながら生活する社会の実現を目指します。

メッセージ施策



男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革

県男女共同参画推進センターを中心に各種講座を開催するなど、男女が社会の対等なパートナーとして、さまざまな活動に参画できるよう、意識改革を促進します。特に、性別役割分担意識にとらわれることのないよう、男性や若い世代に対する男女共同参画意識の啓発を推進します。

子どもたちの豊かな心の育成

道徳教育の充実や、体験活動、文化活動等の推進を通じて、子どもたちが道徳性や社会性を身に付けられるよう、子どもたちの豊かな心の育成を図ります。また、いじめや暴力行為等の問題行動、不登校の問題、インターネットや携帯電話を取り巻く問題に対しては、関係機関等と連携した取組の推進とともに、教職員研修や教育相談体制の充実、スクールカウンセラーの配置の拡充等を通じて、未然防止や早期対応を図ります。

岡山モデル 県民総ぐるみでの暴力行為等問題行動の解決に向けた取組

県民協働による人権啓発・人権教育の推進

さまざまな人権課題の解決に向けて、学校、家庭、地域、職場における人権教育を推進するとともに、マスメディアの活用やイベント、講演会等の開催などによる人権啓発、人権に関する情報の発信等に積極的に取り組みます。

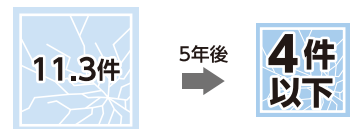


暮らしやすさ指標

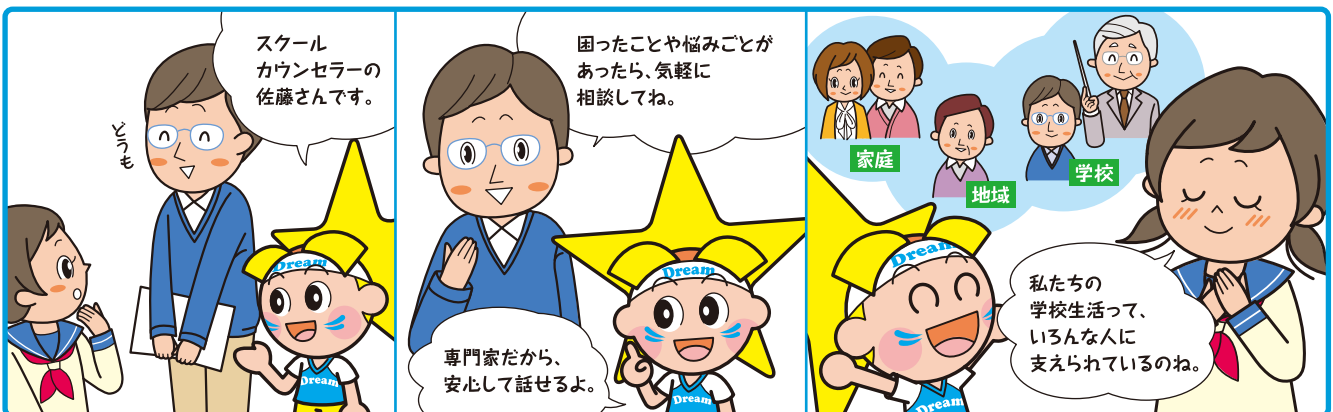
- 小・中・高等学校における不登校の出現割合 (児童生徒1千人当たり)



- 小・中・高等学校における暴力行為の発生割合 (児童生徒1千人当たり)



暮らしやすさ指標数 4 P33へ
メッセージ施策数 3



4 地域を支えリードする担い手育成プログラム

医療、福祉、産業、地域活性化などさまざまな分野において、協働の担い手となるボランティアやNPO等の活動を支援するとともに、性別や年齢、国籍の違い、障害の有無などを問わず、地域を支えリードする多彩な人材の育成・誘致を進めます。

メッセージ施策



「新しい公共」の担い手との協働の推進

多様化、複雑化する県民ニーズに効果的に対応していくため、県民、NPO、企業等の「新しい公共」の担い手と行政がともに力を合わせてきめ細かいサービスを行っていく地域づくり活動等を支援します。



ボランティア・NPOなんでも相談会

「新しい公共」のイメージ

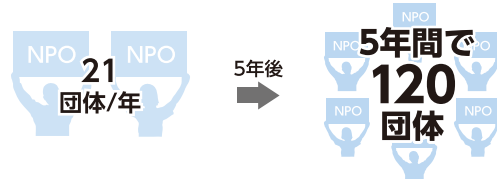


新しい公共：NPO等の民間団体が公共サービスの提供に参画することにより、きめ細かい公共サービスの提供を実現する仕組み、活動



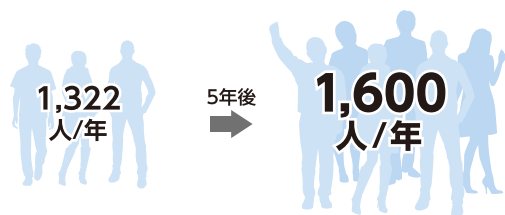
暮らしやすさ指標

●「新しい公共」を進める事業に参画したNPO等の数



県や市町村が実施する事業に、「新しい公共」の担い手として参画した延べ団体数

●大学生災害ボランティア研修会受講者数



暮らしやすさ指標数 4 P35へ
メッセージ施策数 1



1 アジアへ! 世界へ! 産業グローバル戦略推進プログラム

アジアをターゲットに、企業の海外進出や販路開拓を支援するとともに、岡山の観光や農業を戦略的にアピールすることにより、誘客や農産物輸出を促進し、併せて空路利用の大幅な増加による航空ネットワークの拡充を図ります。また、企業間連携の強化や操業環境改善への支援、国際バルク戦略港湾*1である水島港の整備等を通じて、水島コンビナートの国際競争力強化を図ります。

メッセージ施策



東アジア総合プロモーションの推進

急激な経済成長を遂げているアジアをターゲットに、岡山空港を玄関口とした本県への観光客の誘客促進や農林水産物の販路拡大等を進めるため、関係者と一体となって、本県の認知度を高め、第一級の観光資源や高品質な農産物等の周知を図る総合的なプロモーションを行います。

岡山モデル 市町村や海外拠点を有する県内企業等と連携した総合プロモーション

水島コンビナートの国際競争力強化

高機能・高付加価値な素材の西日本最大の供給基地であり、日本の産業競争力を支える拠点である水島コンビナートにおいて、幅広い産業集積を生かしたバーチャル・ワン・カンパニー*2による企業間の原燃料・ユーティリティ*3の共同利用を進め、低炭素型の競争力あるコンビナート化を進めるとともに、新エネルギー・エコ関連製品の国際的な供給拠点としての機能強化を図ります。

岡山モデル アジア有数の競争力を持つコンビナートの実現



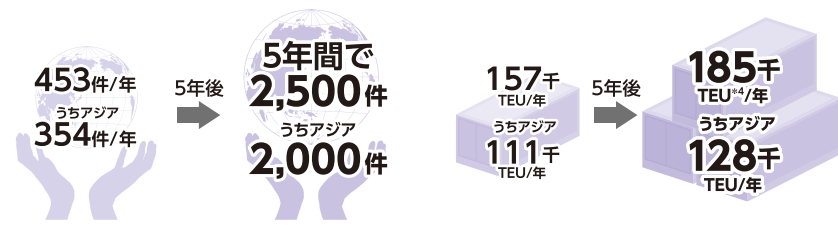
東アジア総合プロモーション(台湾での観光展)



暮らしやすさ指標

●海外市場への参入に向けた支援件数

●水島港における国際コンテナ取扱個数



海外ビジネス支援拠点等での県内企業の海外市場への参入に係る相談件数等

暮らしやすさ指標数 4 P35へ
メッセージ施策数 3



*1 国際バルク戦略港湾:我が国の産業や国民生活に不可欠な資源、穀物、エネルギー等のバルク貨物を、今後登場する最大級の貨物船で一括大量輸送することにより物流コスト削減を実現し、国際競争力の強化を目的とした港湾 *2 バーチャル・ワン・カンパニー:水島コンビナート全体を一つの企業とみなし、強固な企業間連携により、競争力強化を目的とした操業効率の向上や省エネ・省資源化を図ること。*3 ユーティリティ:工場の生産設備・装置を稼働するために必要な蒸気や電力等を供給する、ボイラーや自家発電設備等の総称 *4 TEU (Twenty-foot Equivalent Unit):コンテナ取扱量の単位。20フィート(長さ約6m)コンテナに換算して、その1個分に相当する量が、1TEU

2 ものづくり産業イノベーション推進プログラム

ものづくり重点4分野(超精密生産技術、バイオ、医療・福祉・健康、環境)を中心とした産業クラスター*1の形成を目指すとともに、グリーンイノベーション*2を支える基盤となる高機能・高付加価値製品の開発や、今後の成長が見込まれる次世代自動車・電池関連産業分野の研究開発を支援し、革新的な新製品・新技術の開発を進めます。

メッセージ施策



次世代自動車産業クラスターの形成

EV(電気自動車)の登場や生産拠点の国際的なシフトなど本県の基幹産業である自動車関連産業を取り巻く状況が大きく変化する中で、県内企業が的確に対応できるよう、おかも次世代自動車技術研究開発センターを拠点に、次代を先取りした岡山モデルEVの開発を通じて、部品メーカーをはじめ県内企業の強みを生かした技術開発を推進し、国際競争力のある次世代自動車産業クラスターへの発展を図ります。

岡山モデル 岡山モデルEVの開発を通じた革新的な新技術・新製品の創出

グリーンバイオ・プロジェクトの推進

未利用間伐材や製材端材等の木質バイオマス資源の新たな市場を形成するため、革新的なセルロースナノファイバー*3製造技術を確認し、自動車の部材等の開発や、セルロース本来の高機能性に着目した化粧品素材等への応用などの技術開発を進めるとともに、市場展開を通じて、木質系バイオマスを中心とした産業クラスターの形成を推進し、森林・林業の再生と中山間地域の活性化を目指します。

岡山モデル 未利用間伐材や製材端材等を原料とする高機能素材の開発

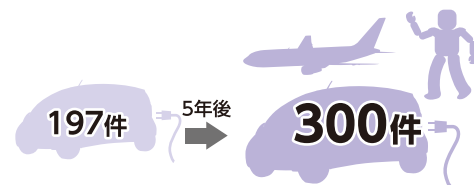


おかも次世代自動車技術研究開発プロジェクト

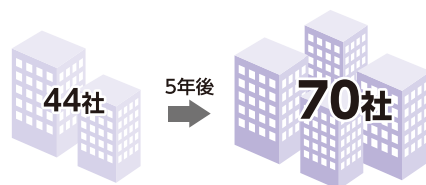


暮らしやすさ指標

●各産業クラスターで開発された製品の数



●大学発ベンチャー企業数



暮らしやすさ指標数 2 P35へ
メッセージ施策数 2



*1 産業クラスター:競争力のある産業や技術を核に、関連するさまざまな業種の企業とこれを支援する機関(大学、研究機関、産業支援機関等)が近接しながら有機的なネットワークを形成し、特定の製品・サービスにおいて競争力のある集団を形成していること。*2 グリーンイノベーション:環境・資源・エネルギー分野の革新的な技術開発や生活・地域社会システムの転換及び新産業の創出により、経済と環境が両立した低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の構築につながるもの。*3 セルロースナノファイバー:木材などを非常に細かくほぐして得られる繊維状の物質。鋼鉄の約1/5の軽さと約5倍の強度を有するといわれている。

3 成長につながる企業の誘致・集積プログラム

充実した広域交通網や、自然災害が少ないなど安全性や安定性の高い操業環境をセールスポイントに、今後成長が期待できる新エネルギー関連、次世代自動車、航空機関連分野の企業の生産拠点や研究開発部門を主なターゲットとする誘致活動を市町村と連携して展開するとともに、企業のリスク分散の動きを捉えた誘致にも積極的に取り組みます。

メッセージ施策



国内有数の安全で安定性の高い 操業拠点の形成 岡山モデル

東日本大震災後、非常時でも事業を継続できる体制が必要との認識が高まっており、リスク分散の観点から、今後、西日本へのデータセンターや研究開発拠点、生産拠点等の立地が予想されるため、自然災害のリスクが少なく、電力を安定的に供給できるなど本県の優れた操業環境をセールスポイントに積極的な誘致活動を行います。

メガソーラー等の誘致

晴れの国の特長が生かせるメガソーラーの誘致に市町村と連携して取り組むとともに、低炭素社会の実現に向け将来にわたり成長が期待できる新エネルギーや次世代自動車関連などの企業の誘致に取り組みます。また、県内企業の技術力向上に資するベンチャー企業の誘致にも力を入れます。

岡山モデル 全国に先駆けた取組によるメガソーラー先進県の形成

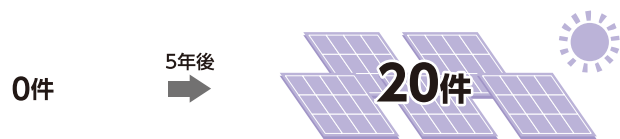


暮らしやすさ指標

●企業立地件数



●県内に設置されたメガソーラーの数



暮らしやすさ指標数 3 P35へ
メッセージ施策数 3



4 地域産業パワーアップ・新ビジネス育成プログラム

地域の商工団体・農林水産団体やNPO等さまざまな主体と連携し、中小企業等の経営革新や販路開拓による経営安定、魅力ある新商品づくり等を促進するとともに、地域力を生かしたソーシャルビジネス*1など、新たなサービス産業の育成、情報ハイウェイの高機能化等を通じて、地域における産業振興、経済の活性化を図り、雇用の確保を目指します。

メッセージ施策



新分野・新事業に挑戦する元気な中小企業の育成

中小企業が行う新製品、新技術等の開発や、首都圏や海外等での販路開拓・取引拡大に向けた取組を総合的に支援するとともに、地域の中小企業のさまざまなニーズに的確に対応した経営支援施策を地域の支援機関や市町村等と連携して推進します。

岡山モデル トップセールスによる県内企業の販路開拓支援等

地域に根ざした産業の「独自の強み」づくり

全国有数の本県繊維産業の活性化を図るため、繊維産業ルネサンスプロジェクト実施計画に基づき、関連団体と連携し、新技術の開発や人材育成・産地ブランド化や海外市場への展開を目指す県内企業の取組を支援します。また、耐火物産業においては、岡山セラミックスセンターを核として研究開発を進めるとともに、倉敷地域や津山地域等における地域の強みを生かした技術開発や地域の特色のある資源を活用した新商品開発などの組織的な取組を支援します。



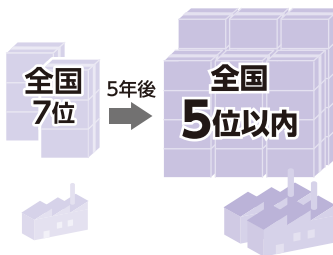
大手メーカーでの展示商談会



暮らしやすさ指標

●従業者一人当たり製造品出荷額

●経営革新に取り組む中小企業数



中小企業新事業活動促進法等に基づき、新事業を行い経営の向上を図ること等を目的とした計画（経営革新計画など）を策定した中小企業の数

暮らしやすさ指標数 3 P35へ
メッセージ施策数 3



*1 ソーシャルビジネス：環境や少子高齢化などのさまざまな社会的課題に向き合い、ビジネス的な手法を用いて解決していこうとする活動の総称

5 「おもてなし岡山」魅力発信・誘客プログラム

豊かな自然、歴史遺産や伝統文化など本県が持つ魅力の発掘と磨き上げを行いながら地域発観光を推進するとともに、地域や近県との連携を一層強化しながらテーマ性やストーリー性を持つ周遊型・滞在型観光ルートの開発等に取り組み、また、岡山を訪れることで得られる感動を効果的に広く情報発信し、観光客の誘致を図ります。



地域発観光モーターツアー



メッセージ施策

地域の魅力を再発見し全国に発信する 「地域発観光」の推進

県民の郷土を愛する気運の醸成を図りながら、地域の歴史や文化などを新たな観光資源として掘り起こし、テーマ性やストーリー性を持った観光素材に育てる取組を支援します。さらに、盛り上がりを見せるご当地グルメ等の活用や体験型の産業観光など、新しい視点で観光ルートを開発し、これを商品化するための旅行会社への売り込みなどを通じ全国への情報発信を強化します。

岡山モデル 岡山の地域資源を生かした周遊型・滞在型旅行商品の開発支援

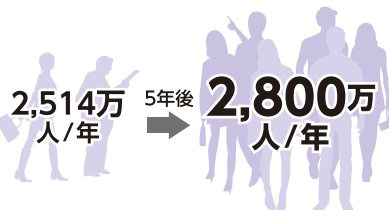
他県と連携し新たな魅力をPRする 「広域観光」の推進

本県の充実した広域交通網を生かし、首都圏、関西圏、さらには新幹線が開通した九州等幅広い地域からの誘客を進めるため、近隣地域共通の観光資源である瀬戸内海やその島々の魅力を生かしたルートなど広域周遊ルートの開発に取り組み、近隣府県と連携してエリア全体の魅力向上に努めます。

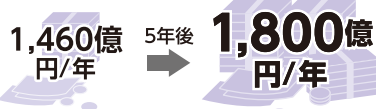


暮らしやすさ指標

●観光客入り込み数



●観光消費額



暮らしやすさ指標数 3 P35へ
メッセージ施策数 2



6 ^{もう}儲かる産業に! 攻めの農林水産業育成プログラム

水田農業の確立や次世代フルーツによる「くだもの王国おかやま」の基盤強化を図るとともに、大規模経営体の育成に努めながら、多彩な農林水産物の輸出促進、新たな担い手である企業の参入も進め、儲かる産業としての農林水産業の確立を目指します。



暮らしやすさ指標

●次世代フルーツの栽培面積



●県産材の生産量



県内で1年間に生産される木材(丸太)量



次世代フルーツの生産拡大

本県果物の柱である清水白桃、マスカット、ピオーネの高品質生産を進めるとともに、多彩で個性豊かな「くだもの王国おかやま」のよりの層の飛躍に向けて、消費者ニーズに即した品種として期待が大きいおかやま夢白桃、オーロラブラック、シャインマスカット等次世代フルーツの積極的な生産拡大に取り組みます。また、販路やファン層の拡大を進め、将来につながる攻めの果物振興を図ります。

岡山モデル 「くだもの王国おかやま」の新ブランドの創出



岡山県産ヒノキの需要拡大と魅力ある林業の実現

本県の優れたヒノキ等の人工林資源は年々充実してきており、効率的な加工流通体制を整備し、乾燥材等品質・性能に優れた製材品の販路を県内外に広げ、需要拡大を図ります。また、意欲と実行力を有する者に森林経営を集約化し、林道や作業道の整備などを加速することにより、生産性の急速な向上を図り、県産材の安定供給と持続可能な魅力ある林業の実現を目指します。

岡山モデル 県産材サポーター・登録工務店制度の創設



メッセージ施策



地域力を生かした6次産業化・農商工連携の推進

6次産業化や農商工連携の取組により開発された商品やサービスのさらなる進化や波及を図るため、自然や歴史、文化を含む豊かな地域資源(地域力)を活用したコーディネート強化や販路開拓の支援等を進めます。

岡山モデル

6次産業連携コーディネートセンターの設置による相談窓口の充実強化



おかやまの里海づくりと海の恵みの持続的利用の推進

豊かな瀬戸内海の恵みが今後も享受できるよう藻場や干潟の造成に加え、隣接県と連携し、播磨灘での広域的な里海づくりを進めます。また、カキ殻を利用した底質改善技術や児島湾口部における栄養塩の管理技術を早急に確立し、漁場環境の改善による資源回復を図り、漁業資源の持続的な利用を推進します。



暮らしやすさ指標

●新たに6次産業化・農商工連携に取り組む件数



県内農林漁業者が、生産した農林水産物を製品加工し付加価値を高め流通・販売に取り組む件数及び商工業者との連携により新商品・新サービスの開発等に取り組む件数

●里海の整備箇所数



魚介類の生産性の向上や生物多様性を確保するため、藻場、干潟の整備や底質改善を取り入れた海洋牧場化などに取り組んでいる海域の数

暮らしやすさ指標数 6 P35へ
メッセージ施策数 9



1 文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム

芸術・文化、スポーツ、生涯学習等に親しむ機会の増大やメニューの充実、ゆとりの創出等を通じて、県民が自らの嗜好に応じてこれらを楽しむ暮らしを創造し、その普及を図るとともに、地域の活力向上にも結び付けていきます。



文化がまちに出る! プロジェクトin備前

メッセージ施策



「文化がまちにある」プロジェクトの推進

おかやま県民文化祭の充実をはじめ、芸術・文化をテーマとした県民総参加による文化の祭典を繰り広げ、国民文化祭の開催により高まった県民の文化への関心や、県内各地で新たに始まった文化活動の取組を各地に根付かせ、伝統ある地域文化や新たに創造された特色ある文化を人々が身近に感じ育てていくことができる取組を推進します。

岡山モデル 芸術家、NPO等とともに創りあげる「おかやま文化回廊」の展開

スポーツで創る「元気コミュニティ」の推進

心と体を健康に保ち、豊かな生活を送るため、地域の総合型スポーツクラブの設立・育成に努めるとともに、県民参加型の大規模なスポーツ大会の開催など、運動やスポーツを手軽に楽しめる機会を提供します。また、地域資源を活用したスポーツ活動を通じて交流を進め、コミュニティの活性化を図ります。

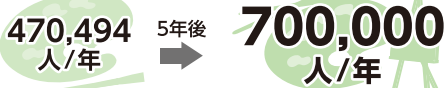
岡山モデル 県民一体となって全国に岡山を情報発信する大規模なスポーツ大会の開催

岡山モデル オリンピック代表チーム合宿誘致などによるスポーツ交流の郷づくり



暮らしやすさ指標

●県文化施設利用者数



県民の文化活動の拠点となる県文化施設（県立美術館等6施設）の利用者数

●成人男女の運動・スポーツ実施人数



県内成人男女のうち1週間に1日以上運動・スポーツを実施する人数（割合）

暮らしやすさ指標数 5
メッセージ施策数 3 P37へ



2 地球と人にやさしい岡山流スマートライフ発信プログラム

東日本大震災後のエネルギーに対する意識の変化も踏まえ、新エネルギーの活用をはじめ、省エネ・省資源やリサイクルなど地球環境に負荷が少なく、持続可能な地域社会の構築につながる新たなライフスタイルを全国に先駆けて創造し、県内外に発信します。

メッセージ施策



エコ&省エネ重視のライフスタイルへの転換

地球温暖化対策など持続可能な社会の実現を目指し、晴れの国の特性を生かした太陽光発電の住宅等への普及拡大や省エネの見える化などを進めるとともに、緑のカーテン*1、マイバッグ持参など県民一人ひとりの節電・省エネルギーやエコな実践活動につながる知恵と工夫の創出と普及を図ることによって、資源やエネルギーを大量消費する生活様式から、環境負荷の少ないライフスタイルへの転換を推進します。

岡山モデル 岡山流の環境にやさしい暮らし方を競う「おかやまエコリンピック」の開催

新エネルギーを活用したスマートタウン構想の推進 **岡山モデル**

太陽光発電や小水力発電等の新エネルギーや電気自動車を核として、独立分散型のコンパクトなスマートエネルギーシステムの社会実証を進め、地域の活性化や安全・安心面の向上につながるスマートタウン構想の推進を図ります。



緑のカーテン



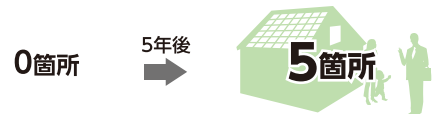
暮らしやすさ指標

●省エネ行動実践数



クールビズなど節電・省エネルギーにつながる新たなライフスタイルを実践する事業者等の行動数

●新エネルギーを活用したスマートタウンの数



暮らしやすさ指標数 5 P37へ
メッセージ施策数 3



*1 緑のカーテン：ツル性の植物（ゴーヤ、ヘチマ等）による壁面緑化。夏の強い日差しを和らげ、葉の蒸散作用により周辺温度を下げることで室温の上昇を抑える効果がある。

3 未来につなぐ! 自然と景観の保全プログラム

世界に誇る美しい瀬戸内海や緑あふれる森林、心癒される清流等の恵まれた自然やその中で暮らしている多種多様な野生生物、さらには、農山漁村の風景、地域の歴史と伝統が生かされた優れた景観を次世代も引き続き楽しめるよう保全するとともに、これらも活用しながら、個性ある美しい地域づくりを進めます。

メッセージ施策



生物多様性おかやま戦略の推進

希少野生動植物の保護や自然環境の保全活動を行う者等と連携し、優れた自然景観や多様な生物が息づく里地里山を地域の豊かな財産として守る取組や、身近な自然に親しみ楽しむことのできる体験学習プログラムの企画・実施などにより、水と緑に恵まれた自然の中で多くの野生生物と人間がともに生存していくことのできる豊かな環境を次の世代に引き継ぎます。

岡山モデル 楽しみながら自然に親しむ里山里海ツーリズムの推進

県民が育て楽しむ森づくりの推進

地域の里山林等を整備する森林ボランティアグループ等の自主的な取組を促進するため、森林ボランティア活動をサポートする新たな仕組みづくりを行うとともに、企業等の森づくり活動への参加を支援するなど、県民参加の森づくりを推進します。また、栗やきのこ栽培、炭焼き、自然観察会など、参加者が森の恵みを楽しみながら森づくりを行う取組を推進します。

岡山モデル おかやま森づくり県民税を活用した森林保全の推進



自然体験学習



暮らしやすさ指標

●身近な自然体験プログラムの参加者数



行政や自然保護団体などが企画・実施する自然保護や環境学習等をテーマとした体験プログラムの参加者数

●森づくり活動に取り組む団体数



暮らしやすさ指標数 2
メッセージ施策数 3 [P37へ](#)



4 誰もがいきいき働き活躍できる社会実現プログラム

誰もが適性や能力に応じていきいきと働き、社会の中で活躍していくため、就業しやすい環境づくりを進めるとともに、きめ細かい職業相談や就職面接会の開催など積極的に就職支援に取り組み、県民の豊かな生活の実現を図ります。

メッセージ施策

暮らしやすさ指標

新規学卒者をはじめとする若者の就職支援

職場見学会や合同就職面接会等により若者の県内企業への理解促進、企業とのマッチング機会の提供に努めるとともに、おかやま若者就職支援センターにおけるマンツーマンでのカウンセリングなどを通じて、若年失業者やフリーター等を支援します。また、ニート等の若年無業者については、おかやま若者サポートステーションと連携して、就業体験、訪問相談等の各種支援を行い、職業的自立を図ります。

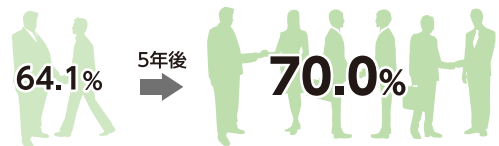
岡山モデル 若者と県内企業とのベストマッチングの推進

●有効求人倍率



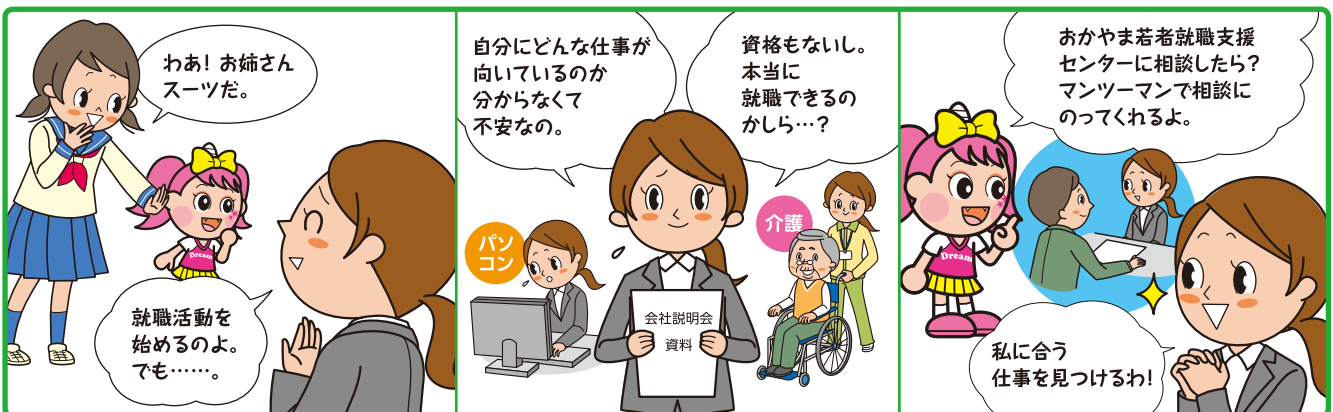
求職者（仕事を探している人）1人当たり何件の求人があるかを示す割合（年平均値）の全国順位

●おかやま若者就職支援センター登録者の就職決定率



おかやま若者就職支援センターの登録者のうち、就職が決定した者の割合

暮らしやすさ指標数 5
メッセージ施策数 1 **P37**



中四国州構想推進プロジェクト

地方分権改革の大きな流れの中、中四国の広域連携を一層強化するとともに、東日本大震災を踏まえた広域防災・救援拠点機能の強化や水島港の整備などを通じて、中四国における本県の拠点性を高め、さらに、道州制の検討を深めながら、「中四国州」構想を推進するため、気運の醸成を図ります。

メッセージ施策



気運の醸成

道州制の検討を深めながら、「中四国州」構想を推進するため、シンポジウムの開催、ホームページやパンフレット等を活用した情報提供、出前講座の開催などに取り組み、県民の気運の醸成を図ります。



- 中四国の連携強化
- 岡山県の拠点性を高めるための基盤整備
- 広域の実施体制の整備

メッセージ施策数 1 P37へ



基本戦略横断プロジェクト

1 元気! 輝く中山間地域活性化プロジェクト

地域の伝統・文化など幅広い資源を生かした自立的な地域づくりを進めるとともに、市町村やNPO等と連携し、中山間地域や離島などの活性化に向けた取組の裾野の拡大を図りながら、地域が行う集落機能維持・強化の取組の支援や交流・定住の促進等による人々が集う地域づくりを進めます。

メッセージ施策



集落機能の維持・強化

過疎化・高齢化等が急速に進行している中山間地域や離島において、小規模高齢化集落など単独では集落としての機能を維持することが困難な複数の集落が連携することで広域的に支え合い、集落機能の維持・強化を図ろうとする取組を支援するとともに、その活動を支える人材の育成等に取り組めます。



移動販売による買い物支援

買い物をしやすい環境づくりの推進

中山間地域においては、過疎化、高齢化が進行する中で、商業機能の低下や生活交通網の弱体化などにより日常の買い物が困難な状況があることから、買い物をしやすい環境づくりに向けた取組を推進します。

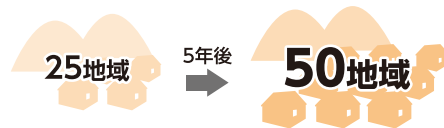
岡山モデル

NPOや市町村、商工団体、企業との連携による「中山間地域買い物助け合いプロジェクト」の推進



暮らしやすさ指標

- 「おかやま元気! 集落」の数



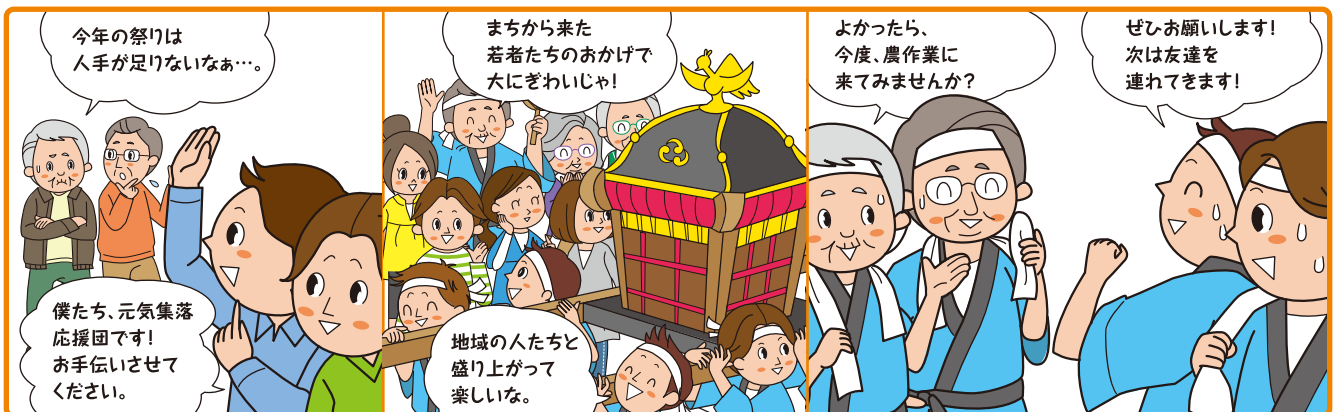
集落機能の維持・強化に取り組む地域の数

- 中山間地域において日常の買い物に不便を感じている集落の割合



地域の状況を勘案して実施した抽出調査において、「買い物に不便を感じている」と回答した集落の割合

暮らしやすさ指標数 7 P37
メッセージ施策数 8



2 「晴れの国」発! 新エネルギー拡大プロジェクト

エネルギー政策の在り方が大きく変わる中、全国に先駆けて策定した「おかやま新エネルギービジョン」を基本に、地域分散型でのエネルギーセキュリティ確保の視点も踏まえながら、晴れの国の特長を生かしたメガソーラーの誘致などの太陽光発電をはじめ、地球温暖化防止だけでなく地域産業の振興や地域活性化にも結び付く新エネルギーの普及拡大を進めます。

メッセージ施策



「晴れの国」全県まるごとソーラー発電所構想の推進

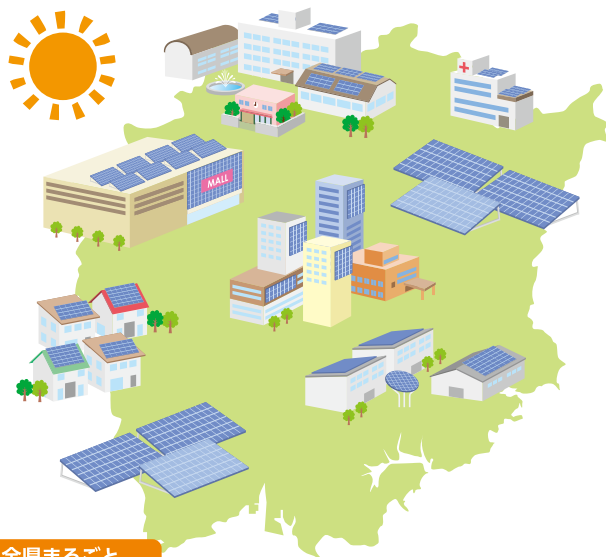
晴れの国の特長を生かし、県有施設への発電設備の設置、住宅や事業所における発電設備の普及促進、民間団体等との連携によるオンサイト発電*1の普及、メガソーラーの誘致などさまざまな取組を通じて本県での太陽光発電量を飛躍的に増大させるとともに、県全体を「全国最大規模のソーラー発電所」として強力に発信し、全国の取組をリードします。

岡山モデル 県有施設等を活用した大規模太陽光発電設備の設置

新エネルギーの地産拡大戦略の推進

普及啓発セミナーの開催や、導入相談・情報提供窓口の開設などを通じて、県民、事業者、NPO、市町村等による市民共同発電や小水力発電など、豊かな自然を新エネルギーとして活用する取組を促進します。

岡山モデル 「晴れの国おかやま」の特長を生かした県民共同太陽光発電施設の設置促進

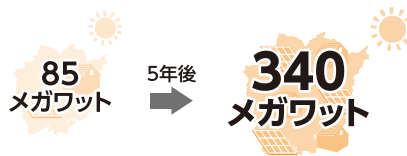


全県まるごとソーラー発電所

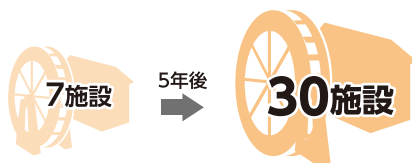


暮らしやすさ指標

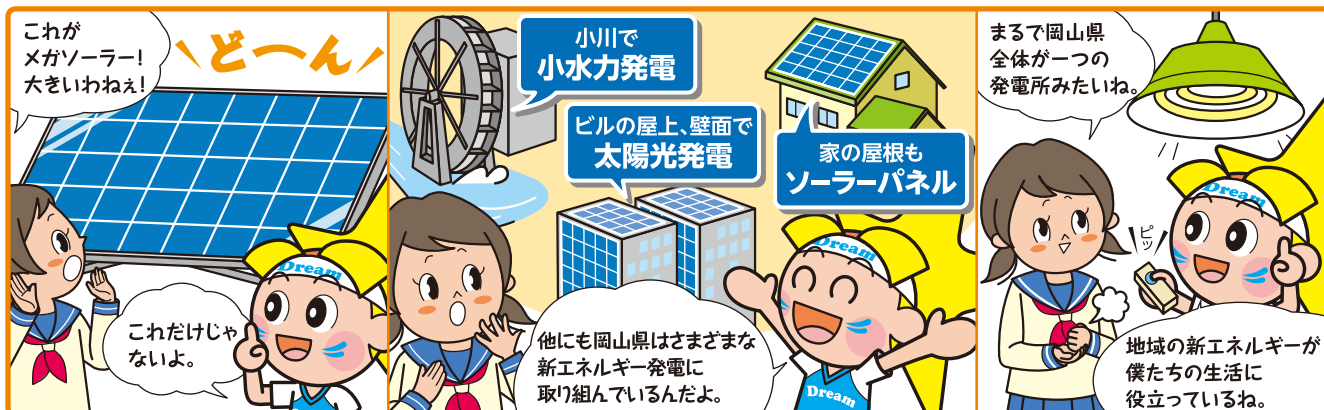
●全県まるごとソーラー発電所の総発電設備容量



●河川や農業用水等を活用して市町村やNPO等が整備した小水力発電設備の数



暮らしやすさ指標数 5
メッセージ施策数 4



*1 オンサイト発電: 発電ビジネスの一つで、電気を大量に消費する施設や工場を対象に、発電設備をリース等で導入し、設置工事から保守点検までの作業を請け負うもの

3 胸を張ってPR! 岡山まるごと情報発信プロジェクト

岡山の魅力を発信し、知名度を上げることは、観光誘客や企業誘致に効果があるだけでなく、県内企業等の活動を後押しすることにもつながることから、岡山ブランドの確立、県の情報発信力や総合的セールス力の強化、県民が岡山の素晴らしさを再認識し愛着と誇りを持って情報発信していく取組の支援等を内容とする総合的な情報発信戦略を展開します。

メッセージ施策



岡山への愛着と誇りの醸成

地域資源を活用した地域の取組の支援や、本県の多彩な自然や豊かな農林水産物、吉備の国からの歴史、個性ある文化等に触れる機会の提供、都市と中山間地域や上下流など、さまざまな交流の促進等を通じて、自らが住む地域はもとより、県全域への愛着や誇りが広がるよう努めます。

- 岡山モデル みまさかのくに 美作国建国1300年記念事業への支援
- 岡山モデル 県民総ぐるみによる「晴れの国おかやま」の情報発信

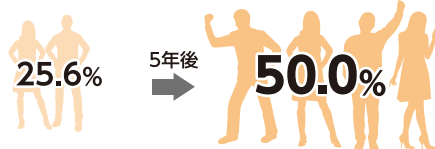
首都圏におけるPR拠点の整備等

県や市町村、民間事業者等と連携した「オール岡山」により、多くの人口を抱え、潜在的な観光需要を持つ首都圏において、県内各地の特産品の展示販売や観光PR、また、本県の旬の果物をはじめ、さまざまな岡山の食の提供などを行うアンテナショップの設置を検討し、首都圏での情報発信に努め、多くの観光客誘致を図ります。

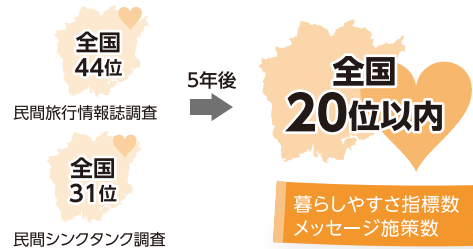


暮らしやすさ指標

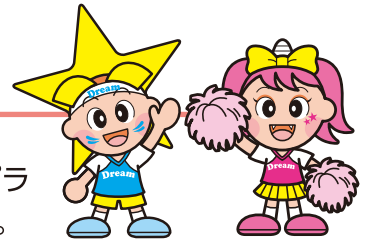
- 文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合



- 民間調査における県民の県に対する愛着度



第4章 プランの進め方



県民との対話による県民ニーズの把握と的確な情報提供を進めながら、プランに掲げる目標の達成に向け、参画と協働を基調に施策を展開していきます。

1 対話の県政・開かれた県政の推進

- 県民をはじめボランティア・NPO、企業、大学、市町村など、さまざまな主体の意見や提案を適切に県政に反映する対話の県政を推進します。
- 県とさまざまな主体とが、目的と目標だけでなく、成果と課題も共有し、共通認識を持ちながら、協働による発展的な県政運営を推進するとともに、県民が興味や親しみを持てるよう工夫した、わかりやすい広報活動に努めるなど、開かれた県政を推進します。

2 市町村や「新しい公共」の担い手等との協働

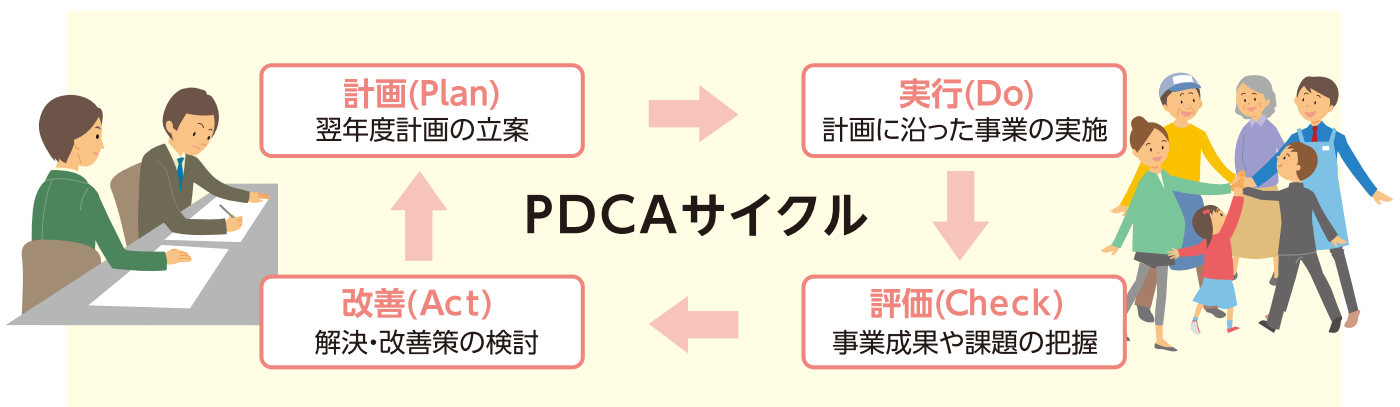
- 市町村と一層の連携強化を図り、課題や目的などを共有しながら、質の高い行政サービスの提供と活力ある地域づくりを推進します。
- 「新しい公共*1」の担い手でもあるボランティア・NPOや企業、大学等との協働をこれまで以上に進めていきます。

3 スピーディーに考え行動する真の政策県庁

- 部局横断型による総合的でスピーディーな政策推進を図ります。
- 職員の政策立案能力と行動力の強化を図り、真の政策県庁を担う職員を育成します。

4 政策評価等によるPDCAサイクルの確立

- これまで実施してきた政策評価に加え、施策・事務事業に関する評価も行う新しい行政評価制度をスタートさせます。
- 行政評価や県民満足度調査の結果も踏まえつつ、県政の重点的な推進方向を示す政策重点指針を策定するなど、PDCAサイクルに基づいて施策の見直しや改善、重点化を進めます。



*1 新しい公共：NPO等の民間団体が公共サービスの提供に参画することにより、きめ細かい公共サービスの提供を実現する仕組み、活動

わくわく夢づくり物語

健康と笑顔がよく似合い人々が集う岡山

岡山の大学病院に勤務する桃村医師は、数年前に承認された「がん細胞だけを死滅させる遺伝子治療法」で、かつては救えなかった多くのがん患者を治療し、社会復帰させています。バイオテクノロジーとナノテクノロジーを駆使したこの画期的な治療法は、この病院が設立したベンチャー企業と岡山の誇るミクロものづくり企業を中心となって開発したものです。

桃村医師が医学の道を志したのは、脳梗塞で右下半身が麻痺した祖父が、岡山で改良され生産されたロボットスーツを初めて装着した姿を目の当たりにし、先進的な技術が人の心と体を癒すことができると知ったからです。動かなくなっていた脚が、ロボットスーツの力を借りることで昔のように意のままに動いた時に、祖父の頬を伝った涙を、そしてその後の笑顔を今も忘れることができません。

今日は、大学病院に多くの報道関係者が詰めかけています。新たに開発された難病治療法の発表会があるようです。古くから医療先進県として名を馳せていた

岡山ですが、産学官が連携し、続々と先進的な治療法や技術を開発したことで、今や世界中から注目され、国内はもちろんのこと、海外からも日帰りや一泊で治療に訪れる人が増え続けています。

岡山ではジョギングなどスポーツを楽しみながらの健康づくりも進んでいます。昨年、岡山でがん治療を受けたある高名な作家は、エッセイの中で「晴れの国には健康と笑顔がよく似合う」と書きました。桃村医師の表情は、人々の心と体を癒し、健康と笑顔を取り戻させ続けている岡山の地で働く充実感に満ちあふれています。



世界にはばたく心を育む岡山

卒業式を間近に控えたある高校の教室で、3年生の晴野さんはイギリスのボーンマスでの語学留学のスケジュールを確認しています。

彼女の夢は、岡山のアパレルメーカーに就職し、今や世界最大の市場となったアジアの国々をはじめ世界中に自分がコーディネートした岡山ブランドの衣料品を広めることです。目指す会社の社内公用語は当然ながら英語。小学生の頃から学校や地域のイベントで英語に親しんできたので会話に不安はないものの、9月の大学入学までに、日本と外国での生活習慣や文化の違いを実感し、語学力もさらに高めたいと思い留学を決意しました。

中学校時代からの親友である犬岡さんは、高校で数学や物理の授業を英語で受けました。彼女は、岡山の大学に進学して量子物理学を学びたいと思っています。その大学で研究している高校の先輩の論文が、昨年、学術雑誌Natureに掲載されノーベル賞級の成果として話題になりました。彼女もノーベル賞受賞を夢見

ているのかもしれませんが。

世界を舞台に活躍するという夢は、一昔前は主にアスリートやアーティストのものでしたが、今、岡山の若者の中では、さまざまな分野で世界にはばたく夢が当たり前のように広がっています。

留学に胸を膨らませている晴野さん。前回のTOEICでは750点を超えたのにクラスでは中の上程度。「岡山って本当にレベルが高いなあ。嫌になっちゃう」と愚痴をこぼしながらも、学校や地域が一緒になって世界への夢を育てくれる岡山が実は大好きなのです。



OKAYAMAはとってもCool(かっこいい)

イギリスに留学している晴野さんに会うため、犬岡さんは、岡山空港からの直行便でロンドンに向かっていきます。彼女が乗っているのは、岡山の航空機部品共同受注グループが受注し、技術の粋を集めて素材や部品の製造からアッセンブリ加工まで、重要な工程の多くを担った最新鋭機「サンシャイン・ドリーム号」。快適な空の旅を約束してくれます。

機内食には、おかやま和牛肉、岡山かき、ジャージー牛乳など岡山産の食材がふんだんに使われ、乗客はみんな大満足ようです。デザートは「くだもの王国」のフルーツ。犬岡さんは、おかやま夢白桃を選びました。

ずいぶん迷ったあげくオーロラブラックを選んだ隣の席の女性が、犬岡さんのバッグを見て「Is it okayama?」と話しかけてきました。デニム製品を英語でokayamaと呼ぶことがすっかり定着したようです。客室乗務員が着こなす色とりどりの制服も全てデニム地。昨年の児島コレクションで評判になった有名デザイナーの作品です。

「岡山へ行くのが夢だったの」と、バスと名乗ったロンドンっ子の彼女が言います。「行ったことのある友達が

すごく羨ましかった。初めての岡山は想像以上にCool。後楽園の幻想庭園はとてもFantasticだったわ。でも1週間だと少しもの足りなかったなあ。絶対にまた行くわ」

ヒースロー空港が見えてきました。晴野さんが、岡山モデルEVで迎えに来てくれているはず。彼女がバスと友達になり、大好きな岡山のことをたっぴりと話して聞かせている姿が目につかび、犬岡さんは思わずほほえんでしまいました。



スポーツが創り出す元気の広がり ファジアーノ岡山がJ1初優勝

超満員となったファジアーノ岡山の本拠地ドリームスタジアム。観客が固唾^{かたず}を飲んで見守る中、今期最終戦の後半、アディショナルタイムは3分と表示されました。小学生の頃から将来を嘱望されていた岡山出身のエースストライカー雉山選手が上げた1点を守りきれば、悲願のJ1初優勝です。

メインスタンドには、名門チーム岡山湯郷ベルの本拠地として、また、なでしこジャパンの合宿地として、名実ともに女子サッカーの聖地となった美作からも数多くのサポーターが応援に駆けつけています。

ここまでの道のりは決して平坦^{へいたん}ではなく、ホームゲームの度に猛暑の日も街頭でチラシを配り続けたスタッフや、好成績を上げられなかった時期にも一途に声援を送り続けたサポーターたちの努力もすぐに実を結んだわけではありません。

しかし、各地域の特色を生かしたマラソン大会の開催などを通じて、スポーツの持つ魅力や地域を元気にする力が改めて実感されることで、次第に広がっていつ

た応援の輪。それに後押しされながら、たゆまぬ鍛錬を続け、「おかやまの歓喜」と呼ばれたJ2優勝を成し遂げた選手たち。そして、ついには岡山挙げての熱狂的な応援の中でこの日を迎えたのです。

試合終了を告げる主審のホイッスルが鳴りました。雉山選手をはじめイレブンは涙を拭いながら抱き合っています。サポーターは歓声を上げて喜びを分かち合い、スタジアム全体が歓喜の渦に包まれています。岡山のサッカー界に輝かしい歴史が、今、刻まれました。



晴れの国は世界に名だたる 太陽光発電地帯(Land of Sunshine-energy)

五月晴れのある日、自治体職員の猿田主任は、ドイツから訪れた視察団を案内し、ソーラーファームが一望できる高台にやって来ました。

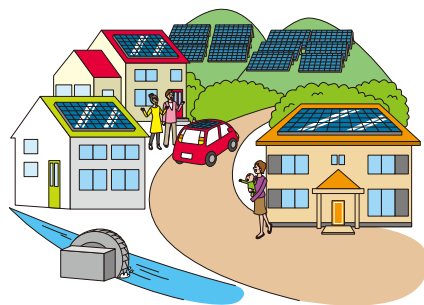
全国に先駆けてメガソーラー誘致を打ち出して以来、岡山では大規模な太陽光発電施設が次々と建設されました。ひときわ注目されたのが、耕作放棄地などを活用するソーラーファーム構想です。無数のソーラーパネルが立ち並び光り輝く姿は、美しい棚田、広大なぶどう畑などととも、岡山の中山間地域を代表する風景となっています。視察団は、自然と調和したその美しさに感嘆の声を上げています。

各地のソーラーファーム、世界最大の臨海メガソーラーパークに加え、岡山で開発され世界最高レベルの変換効率30%を誇る有機薄膜太陽電池が、高層ビルや住宅だけでなく車載用にも普及したことで、今や岡山は世界に名だたる太陽光発電地帯です。

視察団が次に向かうのは、岡山空港近くにある太陽光発電の研究開発エリア。岡山が太陽光発電における

最大の研究フィールドにもなり、関連企業や研究者が国内外から続々と集まったことから、今や、シリコンバレーと並び称され活気にあふれる「サンシャインバレー」です。

猿田主任が「それでは出発します」と視察団に声をかけた時、近所で太陽光発電を活用した「野菜工場」を手がけているという人が近づいてきて言いました。「今日も大勢来てくれたんだね。おいしい岡山米や果物も、発電所も、そして息子が東京から帰ってきてくれたのも、全部お天道様のおかげだよ」猿田主任は、「晴れの国」という言葉を噛みしめながら、何度も何度もうなずくのでした。



OKAYAMAは世界の共通語、そして大好き晴れの国

「治療は大成功です。健康寿命日本一の岡山では70歳はまだ『若手』ですから、ますますのご活躍を期待していますよ」

「ありがとうございます」大学病院でがん治療を受けた晴野さんは、桃村医師にお礼を言うと、イギリス留学を終えて帰国し迎えに来てくれた孫娘と二人で、世界に誇る名園「岡山後樂園」に向かいました。相変わらず歴史の重みを感じさせるたたずまいの園内を歩きながら、孫娘が晴野さんに話しかけます。

「行く前から聞いてはいたけど、イギリスではみんな岡山のことを知っていたよ。難しい病気の治療は岡山というのが常識だし、若者はクールな岡山に憧れている。ついでに、ベスは雉山選手にプレミアリーグへ来てほしいなんて言ってるよ」

「確かにOKAYAMAは英語の辞書にも『憧れの地』という意味で載っているからね。でも、もっとうれしいニュースがあったんだ。昔部下だった猿田君が教えてくれたんだけど、今年の住民愛着度調査で岡山のことが好きと答えた人が9割を超えたらしいよ」

「そうなんだね。でもわかる気がする。私もイギリスで暮らして、あらためて日本や岡山の良さがわかったから。後樂園も、前に来たときは思わなかったけど、樹々や花の彩りと芝生の緑が本当にきれいだなと思うよ」

「それにしても、どうして岡山はこんなに元気なのかなあ」「たぶんね、みんなが夢を持って頑張っているからだと思う。誰もが夢を持てる暮らしやすさ日本一の岡山だからね。もう一つは、あれかな」晴野さんは、立ち止まって、雲一つなく晴れ渡った空を指さしました。

「そうだね。私も晴れの国が大好きだよ」



プログラム等	暮らしやすさ指標	現況値	目標値(平成28年度末)	
基本戦略Ⅰ 安全・安心な地域づくり	① 県民の命を守る防災・減災プログラム	公立学校施設の耐震化率 福祉避難所指定済み市町村数 高校生地域防災ボランティアリーダー養成数 護岸等の整備により高潮被害が解消される防護面積 区域指定等により土砂災害の避難体制を整える箇所数 県、市町村主催の防災訓練参加者数 自主防災組織率の全国順位 防災メール登録件数	66.3% 5市 0人 970ha 5,511箇所 12,000人/年 42位 21,740件	100% 全市町村 1,800人 1,940ha 12,000箇所 18,000人/年 10位以内 50,000件
	② 犯罪や事故のない社会実現プログラム	刑法犯認知件数 重要犯罪検挙率 交通事故死者数 防犯ボランティア人数	24,097件/年 90.3%/年 109人/年 53,663人	15,000件以下/年 100%/年 60人以下/年 100,000人
	③ 誰もが安心! 子育て応援プログラム	おかやま地域子育て支援拠点数 保育所入所待機児童数 病児・病後児保育の実施箇所数 周産期死亡率の低さ 「おかやま子育て応援宣言企業」登録企業・事業所数	95箇所 65人 33箇所 全国6位 267箇所	200箇所 0人 60箇所 全国1位 700箇所
	④ 良質で先進的な保健・医療・福祉サービス提供プログラム	県北医療圏における医師数 がんの75歳未満の死亡率(人口10万対) 自殺率の低さ(人口10万対) 禁煙・完全分煙実施施設認定数 発達障害のある人への支援体制を整備している市町村数 全国平均を上回る活発な活動をしている地域包括支援センターの数 夜間等に訪問看護サービスを提供する事業所数	339人 75.7 全国4位 1,962施設 9市町村 20センター 58箇所	400人 66.5 全国1位 3,000施設 全市町村 56センター(全センター) 120箇所
	⑤ 安全で安心な県民生活確保プログラム	食中毒等の件数 公害相談件数 消費生活サポーター数	239件/年 1,115件/年 —	180件/年 600件/年 新規に5年間で1,500人
基本戦略Ⅱ 将来を担う人づくり	① 学校・家庭・地域の連携による教育推進プログラム	地域の人材を活用している公立小・中学校の割合 授業以外で平日に1時間以上学習する生徒の割合 全国学力・学習状況調査(平均正答率)の全国順位 特別支援学校高等部卒業者の就職状況	62.7% 58.4% 26位 37位 21.2%	100% 70% 10位以内 10位以内 40%
	② 世界にはばたけ! グローバル人材育成・誘致プログラム	子どもたちを対象とした英語体験イベントの開催箇所数 英語に関する検定等の受検者数 海外留学等を行った学生数・生徒数 県内企業に就職した外国人留学生数	4箇所/年 28,653人/年 667人/年 50人/年	10箇所/年 40,000人/年 1,000人/年 5年間で300人
	③ 支え合いの心あふれる社会実現プログラム	管理職に占める女性の割合 民間企業(係長級以上) 一般職公務員(課長級以上) 教育職公務員(教頭以上) 小・中・高等学校における不登校の出現割合(児童生徒1千人当たり) 小・中・高等学校における暴力行為の発生割合(児童生徒1千人当たり) 人権啓発・教育リーダー数	14.9% 8.3% 23.6% 16.4人 11.3件 318人	27.0% 10.0% 25.0% 10人以下 4件以下 500人

※現況値はH23.10.1時点で把握できた直近の数値

施策名 (■メッセージ施策 □基本施策)	岡山モデル(再掲を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ■地震・津波から「命を守る」避難対策等の推進 ■セーフティ・ニューディールの推進(耐震化、防災拠点施設等の整備促進) ■災害時に要援護者を支える体制づくりの推進 ■子どもたちの防災教育の推進 ■洪水・高潮・土砂災害等から「命を守る」防災施設整備の推進 ■「地域の安全は地域で守る」自主防災組織の育成と消防団の活性化 	<ul style="list-style-type: none"> ●「津波による人的被害ゼロ」対策の推進 ●セーフティ・ニューディールの推進(耐震化、防災拠点施設等の整備促進) ●「高校生地域防災ボランティアリーダー」の養成 ●「ふるさとの川リフレッシュ事業」による、県民・市町村と協働した治水対策の推進 ●NPO等との協働による防災意識の向上・自主防災組織の育成支援
<ul style="list-style-type: none"> ■防犯ネットワークの構築による犯罪抑止対策の推進 ■地域社会の連帯感や絆の強化による犯罪抑止機能の向上 ■重要犯罪等の徹底検挙 ■暴力団員の徹底検挙と暴力団排除対策の推進 ■高齢者を重点とした交通安全対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●「犯罪の起きにくい社会づくりミーティング」の開催 ●「犯罪の起きにくい社会づくり推進・応援企業」の拡大 ●運転免許証を自主返納した高齢者にさまざまな生活支援を行う「おかやま愛カード」事業の推進
<ul style="list-style-type: none"> ■地域の子育て支援拠点等の充実とネットワーク化の推進 ■きめ細かな保育の拡充 ■安心して医療を受けられる周産期・小児医療対策の充実 □県民みんなで子育てを応援する環境づくり □子育て相談体制の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●大学と地域の協働による「おかやま子育てカレッジ」の普及と全国発信 ●先天性代謝疾患の新検査導入と関係機関が連携した精密検査までの一貫した支援体制の構築
<ul style="list-style-type: none"> ■地域医療を支える医療従事者の育成・確保 ■地域における医療提供体制の整備 ■心と体の健康づくりの推進 ■障害のある人の地域生活の支援 ■地域包括ケアの推進による高齢者サービスの充実 □がん医療体制の整備 □医薬品の安全確保等 □安心して医療を受けられる周産期・小児医療対策の充実【再掲】 □災害・救急医療体制の整備【再掲】 □感染症対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●県地域医療支援センターと地域の協働による住民参加型医師の地域偏在解消対策の推進 ●岡山情報ハイウェイを活用して診療情報を共有する医療機関ネットワークの構築 ●全国トップの会員数を誇る愛育委員・栄養委員の声かけや見守りなどによる岡山ならではの地域密着型健康づくりの推進 ●発達障害者支援コーディネーターの市町村単位での配置推進 ●中山間地域等における24時間対応の定期巡回・随時対応サービスの推進
<ul style="list-style-type: none"> ■安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進 ■食品の加工、流通段階における安全・安心の確保 □新型インフルエンザ対策の推進 □食の安全に関する理解の促進 □環境保全型農業の推進 □日常生活の衛生確保の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □地域の環境保全対策の推進 □廃棄物の適正処理の推進 □犯罪対策の推進【再掲】(不法投棄・風俗関係) □消費者被害の防止・救済 □消費者のための適正な事業活動の促進 □犯罪対策の推進【再掲】(高齢者被害防止)
<ul style="list-style-type: none"> ■学力向上策の充実 ■科学技術教育の推進 □健やかな体の育成 □特別支援教育の推進 □キャリア教育・職業教育の推進 □情報化に対応した教育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●国の計画に先行した小・中学校における35人学級の推進 ●未来につながる科学の学び・体験・交流の発信拠点「未来科学棟(仮称)」の活用
<ul style="list-style-type: none"> ■学校・地域における英語体験の促進 ■英語活用力の育成 ■国際感覚等を備えた人材の育成 ■大学と連携したグローバル人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ●英語による理数系科目の授業の実施
<ul style="list-style-type: none"> ■男女共同参画社会づくりに向けた意識の改革 ■子どもたちの豊かな心の育成 ■県民協働による人権啓発・人権教育の推進 □あらゆる分野への男女共同参画の推進 □男女の人権が尊重される社会の構築 □青少年が健やかに育つ社会づくり □犯罪対策の推進(規範意識の向上)【再掲】 □少年非行対策の推進【再掲】 □人権に配慮した行政施策の推進 □ユニバーサルデザイン(UD)の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ●県民総ぐるみでの暴力行為等問題行動の解決に向けた取組

プログラム等	暮らしやすさ指標	現況値	目標値(平成28年度末)	
基本戦略Ⅲ 発展につながる産業づくり	④ 地域を支えリードする担い手育成プログラム	「新しい公共」を進める事業に参画したNPO等の数 NPO法人の認証数 大学生災害ボランティア研修会受講者数 技能検定に合格した県内工業高校生の割合	21団体/年 603団体 1,322人/年 1.7%	5年間で120団体 730団体 1,600人/年 5.1%
	① アジアへ! 世界へ! 産業グローバル戦略推進プログラム	海外市場への参入に向けた支援件数	453件/年	5年間で2,500件
		うちアジア	354件/年	5年間で2,000件
		県内に宿泊する外国人旅行者の数	68,147人	150,000人
		うちアジア	29,933人	78,000人
		岡山空港の国際線便数	週19便	週25便
	② ものづくり産業イノベーション推進プログラム	岡山空港の国際線便数	うちアジア 週17便	週23便
水島港における国際コンテナ取扱個数		157千TEU/年 111千TEU/年	185千TEU/年 128千TEU/年	
③ 成長につながる企業の誘致・集積プログラム	各産業クラスターで開発された製品の数	197件	300件	
	大学発ベンチャー企業数	44社	70社	
④ 地域産業パワーアップ・新ビジネス育成プログラム	企業立地件数	21件/年	5年間で150件	
	今後成長が期待できる企業の立地件数 (県内企業の関連分野への展開を含む) 県内に設置されたメガソーラーの数	— 0件	新規に20件 20件	
⑤ 「おもてなし岡山」魅力発信・誘客プログラム	従業者一人当たり製造品出荷額	全国7位	全国5位以内	
	経営革新に取り組む中小企業数 新たにソーシャルビジネスに取り組む事業者数	70社/年 —	5年間で500社 5年間で15事業者	
⑥ 儲かる産業に! 攻めの農林水産業育成プログラム	観光客入り込み数	2,514万人/年	2,800万人/年	
	観光消費額 観光ボランティアガイドの数	1,460億円/年 745人	1,800億円/年 1,000人	
⑥ 儲かる産業に! 攻めの農林水産業育成プログラム	次世代フルーツの栽培面積	171ha	300ha	
	県産材の生産量	324千㎡	400千㎡	
	法人化された農業経営体数	286法人	350法人	
	新たに農業経営を開始した就農者数	113人/年	5年間で550人	
	新たに6次産業化・農商工連携に取り組む件数	—	5年間で50件	
	里海の整備箇所数	2箇所	4箇所	

※現況値はH23.10.1時点で把握できた直近の数値

施策名 (■メッセージ施策 □基本施策)	岡山モデル(再掲を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ■「新しい公共」の担い手との協働の推進 □地域づくりのリーダー育成等 □災害救援専門ボランティアの育成等 □大学生災害ボランティアの育成 □IT人材の育成 □地域産業を担う人づくり 	<ul style="list-style-type: none"> □高齢者の生きがいづくりと社会参加の促進 □防犯ネットワークの構築による犯罪抑止対策の推進【再掲】 □国際貢献活動の推進【再掲】 □障害のある人の社会参加を支えるボランティア等の育成【再掲】
<ul style="list-style-type: none"> ■東アジア総合プロモーションの推進 ■新たな西日本ゴールデンルートの売り込み ■水島コンビナートの国際競争力強化 □海外市場における販路開拓支援等海外事業展開の支援 □航空ネットワークの拡充と空港機能の強化 □農林水産物の輸出促進【再掲】 □県が有する海外ビジネス支援拠点による海外進出の支援 	<ul style="list-style-type: none"> □海外事業展開等による県内企業の競争力強化支援 □水島港の機能強化 ●市町村や海外拠点を有する県内企業等と連携した総合プロモーション ●世界遺産、ミシュラン三つ星等を組み合わせたゴールデンルートの開発 ●アジア有数の競争力を持つコンビナートの実現
<ul style="list-style-type: none"> ■次世代自動車産業クラスターの形成 ■グリーンバイオ・プロジェクトの推進 □ミクロものづくり産業クラスターの形成 □医療・福祉分野産業クラスターの形成 □環境・新エネルギー産業クラスターの形成 □おかやま発! 環境技術のアジア貢献の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □産学官連携によるイノベーション創出 □ベンチャー企業の育成 □研究開発支援機能の強化 □明日の岡山県農林水産業を支える新技術の開発と迅速な普及【再掲】 ●岡山モデルEVの開発を通じた革新的な新技術・新製品の創出 ●未利用間伐材や製材端材等を原料とする高機能素材の開発
<ul style="list-style-type: none"> ■国内有数の安全で安定性の高い操業拠点の形成 ■西日本の航空機産業拠点の構築 ■メガソーラー等の誘致 □ターゲットを絞った企業誘致活動の推進 □産業団地の特性に応じた誘致戦略の展開 □先端的ミクロものづくり集積地構想の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □三海二山を結ぶ広域交通網等の整備 □交通渋滞の緩和による人や物のスムーズな移動の確保 □豊かで暮らしやすい地域づくりを支える道路整備 □水島コンビナートの国際競争力強化【再掲】 □水島港の機能強化【再掲】 □航空ネットワークの拡充と空港機能の強化【再掲】 ●国内有数の安全で安定性の高い操業拠点の形成 ●全国に先駆け取組によるメガソーラー先進県の形成
<ul style="list-style-type: none"> ■新分野・新事業に挑戦する元気な中小企業の育成 ■地域に根ざした産業の「独自の強み」づくり ■地域力を生かしたソーシャルビジネスの育成 □地域の暮らしを支える中小企業経営の支援 □地域社会を支える建設業の新分野・新事業挑戦の支援 □経済環境の変化に対応できるスピーディーで効果的なセーフティネットの整備 	<ul style="list-style-type: none"> □中心市街地活性化への戦略的支援 □安全・安心なIT利用環境の整備 □IT基盤の充実 □ユビキタスネットワークの充実 □IT人材の育成【再掲】 □地域力を生かした6次産業化・農商工連携の推進【再掲】 ●トップセールスによる県内企業の販路開拓支援等
<ul style="list-style-type: none"> ■地域の魅力を再発見し全国に発信する「地域発観光」の推進 ■他県と連携し新たな魅力をPRする「広域観光」の推進 □具体的な集客につながる国内外への観光プロモーションの推進 □おかやまおもてなしスタイルの構築 	<ul style="list-style-type: none"> □おかやま後楽園の魅力づくりの推進 □コンベンションの誘致等によるビジネス客等の取り込み □映画・TVロケの誘致による情報発信 □港を中心としたにぎわい空間の創出 □新たな西日本ゴールデンルートの売り込み【再掲】 ●岡山の地域資源を生かした周遊型・滞在型旅行商品の開発支援
<ul style="list-style-type: none"> ■次世代フルーツの生産拡大 ■岡山県産ヒノキの需要拡大と魅力ある林業の実現 ■次代を担う「力強い」担い手の育成 ■農林水産物のブランド確立 ■農林水産物の輸出促進 ■農林水産物の鳥獣害防止対策の推進 ■畜産物の生産振興 ■地域力を生かした6次産業化・農商工連携の推進 ■おかやまの里海づくりと海の恵みの持続的利用の推進 □競争力ある米づくりの推進 □“おかやま元気・健康ベジタブル”の生産振興 □旬の地魚の生産振興 □明日の岡山県農林水産業を支える新技術の開発と迅速な普及 	<ul style="list-style-type: none"> □地産地消・食料自給率向上運動の推進 □食の礎となる農業基盤整備の推進 □農業を支える施設の保全管理の推進 □中山間地域農業の再生 □優良農地の確保と有効利用の推進 □次代へ引き継ぐ美(うるわ)しの農山漁村づくりの推進【再掲】 □県内産飼料の増産による資源循環型畜産の推進 □安全で安心な農林水産物の生産と信頼確保の推進【再掲】 □環境保全型農業の推進【再掲】 □県民が育て楽しむ森づくりの推進【再掲】 □公益的機能を高める森づくりの推進【再掲】 ●「くだもの王国おかやま」の新ブランドの創出 ●県産材サポーター・登録工務店制度の創設 ●「岡山屋」による首都圏への県産農産物の販路拡大とブランド化の推進 ●「岡山屋」による海外への県産農産物の輸出促進 ●6次産業連携コーディネートセンターの設置による相談窓口の充実強化

プログラム等	暮らしやすさ指標	現況値	目標値(平成28年度末)
基本戦略Ⅳ 豊かで潤いのある暮らしづくり	①文化・スポーツ・学びを楽しむ暮らし創造プログラム	県文化施設利用者数 470,494人/年 県民文化祭参加者数 177,340人/年 岡山ゆかりのアスリートの国際大会出場者数 56人/年 成人男女の運動・スポーツ実施人数 76.4万人(49%) 公立図書館から借りた本の数 全国8位	700,000人/年 350,000人/年 5年間で300人 86万人(55%) 全国3位以内
	②地球と人にやさしい岡山流スマートライフ発信プログラム	省エネ行動実践数 428件 マイバッグ持参率 44% 新エネルギーを活用したスマートタウンの数 0箇所 住宅用太陽光発電設備の普及率 4% 電気自動車の普及台数 269台	800件 70% 5箇所 10% 1,600台
	③未来につなぐ! 自然と景観の保全プログラム	身近な自然体験プログラムの参加者数 7,504人/年 森づくり活動に取り組む団体数 69団体	20,000人/年 90団体
	④誰もがいきいき働き活躍できる社会実現プログラム	有効求人倍率 全国6位 おかやま若者就職支援センター登録者の就職決定率 64.1% 高等技術専門校修了生の就職率 85.3% 民間企業における障害者実雇用率 全国12位 女性の生産年齢人口に占める常用労働者の割合 50%	全国3位以内 70.0% 90.0% 全国10位以内 55%
推進プロジェクト 中四国州構想	中四国州構想推進プロジェクト		
基本戦略横断プロジェクト	①元気! 輝く中山間地域活性化プロジェクト	「おかやま元気! 集落」の数 25地域 「おかやま元気! 集落応援団」への登録数 9団体 中山間地域の交通難所の数 520箇所 中山間地域において日常の買い物に不便を感じている集落の割合 55% 夜間等に訪問看護サービスを提供する事業所数【再掲】 58箇所 新たに6次産業化・農商工連携に取り組む件数【再掲】 — 新たにソーシャルビジネスに取り組む事業者数【再掲】 —	50地域 60団体 170箇所 27% 120箇所 5年間で50件 5年間で15事業者
	②「晴れの国」発! 新エネルギー拡大プロジェクト	全県まるごとソーラー発電所の総発電設備容量 85メガワット 県民参加の取組で設置された発電施設の数 20施設 河川や農業用水等を活用して市町村やNPO等が整備した小水力発電設備の数 7施設 新エネルギーを活用したスマートタウンの数【再掲】 0箇所 電気自動車の普及台数【再掲】 269台	340メガワット 60施設 30施設 5箇所 1,600台
	③胸を張ってPR! 岡山まるごと情報発信プロジェクト	文化、スポーツ、自然などに誇りを持てる地域になっていると感じる人の割合 25.6% 民間調査における県民の県に対する愛着度 民間旅行情報誌調査 全国44位 民間シンクタンク調査 全国31位	50.0% 全国20位以内 全国20位以内

※現況値はH23.10.1時点で把握できた直近の数値

施策名 (■メッセージ施策 □基本施策)		岡山モデル(再掲を除く)
<ul style="list-style-type: none"> ■「文化がまちにある」プロジェクトの推進 ■スポーツで創る「元気コミュニティ」の推進 ■トップクラブチームによるおかやまの元気・感動の創出 □文化創造活動の企画・支援 □文化交流・文化発信の推進 □未来へつなぐ! おかやま文化の担い手育成・支援 □文化財の保存・活用 	<ul style="list-style-type: none"> □未来へはばたくアスリートの育成・支援 □障害者スポーツの普及促進 □心と体の健康づくりの推進【再掲】 □生涯学習活動の推進 □国際交流の推進 □仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進【再掲】 □ユビキタスネットワークの充実【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ●芸術家、NPO等とともに創りあげる「おかやま文化回廊」の展開 ●県民一体となって全国に岡山を情報発信する大規模なスポーツ大会の開催 ●オリンピック代表チーム合宿誘致などによるスポーツ交流の郷づくり ●地元トップクラブチームと地域が交流を深める「愛ラブおかやまホームタウン活動」の展開
<ul style="list-style-type: none"> ■エコ&省エネ重視のライフスタイルへの転換 ■新エネルギーを活用したスマートタウン構想の推進 ■電気自動車の普及促進 □循環型社会の形成推進 	<ul style="list-style-type: none"> □環境学習の積極的推進 □産業面での地球温暖化防止対策の推進 □LED車道用道路照明導入の推進 □太陽光発電、小水力発電の導入【再掲】 □新エネルギーの地産拡大戦略の推進【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ●岡山流の環境にやさしい暮らし方を競う「おかやまエコリンピック」の開催 ●新エネルギーを活用したスマートタウン構想の推進
<ul style="list-style-type: none"> ■生物多様性おかやま戦略の推進 ■県民が育て楽しむ森づくりの推進 ■次代へ引き継ぐ美しい農山漁村づくりの推進 □瀬戸内海の再生・活用 □児島湖再生の推進 □クリーンライフ100構想の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □多自然川づくり等の推進 □おかやまアダプトの推進 □公益的機能を高める森づくりの推進 □おかやまの里海づくりと海の恵みの持続的利用の推進【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ●楽しみながら自然に親しむ里山里海ツーリズムの推進 ●おかやま森づくり県民税を活用した森林保全の推進
<ul style="list-style-type: none"> ■新規学卒者をはじめとする若者の就職支援 □仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進 □福祉・介護人材とサービスの質の確保【再掲】 □多様なニーズに対応した職業訓練の推進 	<ul style="list-style-type: none"> □障害のある人の就職支援 □障害のある人の地域生活の支援【再掲】 □高齢者雇用の促進 □女性の就職支援 □Uターン希望者の就職支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●若者と県内企業とのベストマッチングの推進
<ul style="list-style-type: none"> ■気運の醸成 □災害時広域応援体制の強化【再掲】 □新たな西日本ゴールデンルートの売り込み【再掲】 □他県と連携し新たな魅力をPRする「広域観光」の推進【再掲】 □トップクラブチームによるおかやまの元気・感動の創出【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> □文化交流・文化発信の推進【再掲】 □航空ネットワークの拡充と空港機能の強化【再掲】 □水島港の機能強化【再掲】 □三海二山を結ぶ広域交通網等の整備【再掲】 □セーフティ・ニューディールの推進【再掲】 □国の出先機関の廃止に伴う広域の実施体制の整備 	
<ul style="list-style-type: none"> ■集落機能の維持・強化 ■地域の活性化に向けた住民参加による取組の全県的拡大 ■中山間地域の安全で円滑な交通を確保する道づくり ■買い物しやすい環境づくりの推進 ■地域包括ケアの推進による高齢者サービスの充実【再掲】 ■地域力を生かした6次産業化・農商工連携の推進【再掲】 ■農林水産物の鳥獣害防止対策の推進【再掲】 ■地域力を生かしたソーシャルビジネスの育成【再掲】 □地域資源を生かした主体的・自立的な地域づくりの促進 □県民が育て楽しむ森づくりの推進【再掲】 □次代へ引き継ぐ美しい農山漁村づくりの推進【再掲】 □地域医療を支える医療従事者の育成・確保【再掲】 □地域における医療提供体制の整備【再掲】 □公共交通の確保 	<ul style="list-style-type: none"> □地域社会の連帯感や絆の強化による犯罪抑止機能の向上【再掲】 □高齢者を重点とした交通安全対策の推進【再掲】 □中山間地域農業の再生【再掲】 □岡山県産ヒノキの需要拡大と魅力ある林業の実現【再掲】 □農林水産物のブランド確立【再掲】 □おかやまの里海づくりと海の恵みの持続的利用の推進【再掲】 □地域の暮らしを支える中小企業経営の支援【再掲】 □豊かで暮らしやすい地域づくりを支える道路整備【再掲】 □ターゲットを絞った企業誘致活動の推進【再掲】 □交流・定住の促進 □地域の魅力を再発見し全国に発信する「地域発観光」の推進【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ●本県独自の道づくり基準「おかやまスタンダード」の活用による交通難所の解消 ●NPOや市町村、商工団体、企業との連携による「中山間地域買い物助け合いプロジェクト」の推進
<ul style="list-style-type: none"> ■「晴れの国」全県まるごとソーラー発電所構想の推進 ■新エネルギーの地産拡大戦略の推進 ■メガソーラー等の誘致【再掲】 ■新エネルギーを活用したスマートタウン構想の推進【再掲】 □環境・新エネルギー産業クラスターの形成【再掲】 □太陽光発電、小水力発電の導入 □バイオマスタウン構想等との連携によるエネルギーの地産拡大 	<ul style="list-style-type: none"> □野菜・花き栽培など農業分野での新エネルギーの利用拡大 □セーフティ・ニューディールの推進【再掲】 □環境学習の積極的推進【再掲】 □新エネルギー活用による地球に優しいライフスタイルの普及 □電気自動車の普及促進【再掲】 □地域のイメージアップに結びつく新エネルギー導入の支援 	<ul style="list-style-type: none"> ●県有施設等を活用した大規模太陽光発電設備の設置 ●「晴れの国おかやま」の特長を生かした県民共同太陽光発電施設の設置促進
<ul style="list-style-type: none"> ■岡山への愛着と誇りの醸成 ■首都圏におけるPR拠点の整備等 ■スポーツで創る「元気コミュニティ」の推進【再掲】 ■トップクラブチームによるおかやまの元気・感動の創出【再掲】 □次世代フルーツの生産拡大【再掲】 □畜産物の生産振興【再掲】 □国内有数の安全で安定性の高い操業拠点の形成【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> □海外市場における販路開拓支援等海外事業展開の支援【再掲】 □「晴れの国」全県まるごとソーラー発電所構想の推進【再掲】 □県の情報発信力の強化 □東アジア総合プロモーションの推進【再掲】 □交流・定住の促進【再掲】 	<ul style="list-style-type: none"> ●美作国(みまさかのくに)建国1300年記念事業への支援 ●県民総ぐるみによる「晴れの国おかやま」の情報発信



岡山県マスコット ももち

第3次おかやま夢づくりプラン

平成24年3月発行

編集・発行 岡山県

〒700-8570 岡山県岡山市北区内山下2-4-6

URL <http://www.pref.okayama.jp/>



うらっち

概要版